

電動リクライニング 組立・取扱説明書・保証書

型式名 **GX-P302F**

このたびはフランスベッドの製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

目次

安全のために必ずお守りください	1
部品の一覧・各部のなまえ	6
組み立て方法	8
安全装置について	15
ヘッドアップ機能を解除する (2 モーター／3 モータータイプ)	16
快適にお使いいただくために	17
コントローラーの使いかた (2 モーター／3 モータータイプ)	18
コントローラーの使いかた (4 モータータイプ)	21
サイドレール・ベッド用グリップについて	31
こんなときには	33
お手入れ	36
保守点検	36
アフターサービス	37
お客様相談室	37
保証書	38
商品仕様	裏表紙





注意

正しく安全にご使用いただくために、この組立・取扱説明書をよくお読みいただいた上で組み立てて、ご使用ください。
また、いつでもご覧いただけるように大切に保管して下さいようお願い申し上げます。

安全のために必ずお守りください
















絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、下記の絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	 注意	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損するおそれのあることを示します。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。(～してはいけません。)		この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～なさい。)

警告







使用上の注意

	ベッドの操作を行う際には、寝ている方やベッド周辺の安全を確認しながら操作してください。何らかの危険を感じたときには、すぐに操作を中止してください。 ケガをしたり、故障の原因になります。		ベッドの下や背上げた床板とフレームの間には入らないでください。 ケガをしたり、破損の原因になります。
	小さなお子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない方がご使用になる場合は付き添いの方が操作を行ってください。 取扱説明書・警告ラベルには安全に使用することで重大なことが書かれており、この内容を理解できない方が操作すると、事故の原因になります。		ベッドの周辺には危険物を置かないでください。 ベッドからの転落（寝ぼけなど）でケガをするおそれがあります。
	体に不安のある方や現在治療中の方は、ご使用になる前にかかりつけの医師に相談してからお使いください。 ベッドの背上げ、脚上げ機能を利用することで症状を悪化させる可能性があります。		ベッドの近くでストーブなどを使わないでください。 引火して火災になるおそれがあります。
	分解改造しないでください。 破損してケガをするおそれがあります。		ベッドの上での喫煙はお止めください。 火災の原因などになることがあります。
	本製品は1人用ですので2人以上では使用しないでください。 重大な事故の原因になります。		ベッドの上で飛び跳ねないでください。 ケガをしたり、破損の原因になります。
	ベッドを操作する際には、寝ている人の頭がヘッドボード側にあり、仰向けに寝た状態で行ってください。 寝姿勢によっては身体に無理がかかりケガをするおそれがあります。		電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・火災の原因になります。		アダプターおよび電源コードは本製品の使用目的以外に利用しないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因になります。
	背上げ、脚上げた状態で背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないでください。 ケガをしたり、破損の原因になります。		

安全のために必ずお守りください



⚠ 注意

設置上の注意
















	電源コードおよびコントローラーのコードを無理に曲げたり、つぎ足したり、リクライニング部に挟んだりしないでください。コードが破損し、感電・火災の原因になります。		高温多湿な場所は避け、壁から 5 cm 以上離して設置してください。埃や湿気の滞留はカビやダニなどの発生の原因になります。また、異音や壁への傷・汚れなどの原因になります。
	電源コードの上に重い物を載せたり、コードがベッド(レグなど)の下敷きにならないようにしてください。コードが破損し、感電・火災の原因になります。		直射日光やエアコンからの風が直接ベッドに当たる場所は避けてください。品質変化による変形・変色・ひび割れなどの原因になります。
	ベッドの重量(商品仕様参照)に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、 <u>ベッドの接地面が傷ついたり、きしみ音が出る場合があります</u> ので、極力カーペット類を使用して床面の保護を行ってください。		一般家庭および施設などの室内環境で、突起物のない平らな場所に設置してください。屋外や風呂場などで使用した場合、故障や事故の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意







	妊娠中の方や極度の肥満体の方は、ご使用に際し十分注意して使用してください。		電源はなるべく直接コンセントから取ってください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用しないでください。電源コードや電源プラグが発熱するおそれがあります。
	介護・就寝以外での使用はしないでください。重大な事故の原因になります。		ベッドを動かす場合や長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。
	最大使用者体重は 100kg です。それを超える体重の方は使用しないでください。ベッドの破損や重大な事故の原因になります。		交流 100V 以外では使用しないでください。感電や火災の原因になります。
	しばらく使用していなかった場合は、必ず人が乗る前にベッドの作動が正常かつ安全であることを確認してください。異常な作動は、思わぬ事故の原因になります。		電源プラグにピンやゴミを付着させないでください。ゴミなどが付着している場合は、電源プラグを抜き、乾拭きしてください。感電・ショート・火災の原因になります。
	電源プラグや電源コードおよびコントローラーには濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		容量に満たない電源タップ・延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。ショートや発熱・火災の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜いてください。コードが破損し感電・火災の原因になります。		コントローラーの操作ボタンは、同時に 2 つ以上押さないでください。加熱や故障の原因になります。
	電源プラグは確実に最後まで差し込んでください。感電・ショート・発火の原因になります。		モーターやコントローラーに水やジュースなどの液体をこぼさないでください。感電や故障の原因になります。
	停電・雷・地震などのときには直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。復帰したときに危険です。		コントローラーはふとんの中に入れないでください。加熱や故障の原因になります。
	ベッドフレームにはデザイン上の凹凸、隙間(サイドフレーム下部など)がありますので、周囲を移動、および乗り降りする際は注意してください。ひっかかったり、挟んだりしてケガをするおそれがあります。		

安全のために必ずお守りください

	背上げ、脚上げなどの電動操作を長時間（2分以上）連続で行わないでください。 連続運転によりモーターが熱を持つと、モーターの過熱防止保護回路が働きモーターが動かなくなります。 次に使用するときには、十分に時間をおいてから使用してください。		ベッドの下や周辺は除湿をし、定期的に掃除や換気をしてください。 埃や湿気の滞留はカビやダニなどの発生の原因になります。 壁などの近くでのご使用は特に注意してください。
	ベッド（モーター・コントローラー・コード・マットレスなど）は破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因になります。		殺虫剤、シンナー、灯油、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤で拭いたり、直接吹き付けないでください。 フレーム部分の変色や色あせの原因になります。
	ベッドの操作を行う際には、寝ている方やベッド周辺の安全を確認しながら操作してください。何らかの危険を感じたときは、すぐに操作を中止してください。 ケガをしたり、故障の原因になります。		新しいうちは、素材の臭いがする場合がありますので、気になる方はお部屋の換気を十分にしておいてください。
	キャスターは必ずロックしてください。 ロックしないで使用していると、思わぬときに動いて事故の原因になります。		ベッドフレームの上には、必ず当社指定の専用マットレスを載せてお使いください。 当社の専用マットレス以外を載せてお使いになると破損してケガをする場合があります。
	ベッドフレーム類には、無理な力を加えたり、強い衝撃を与えないでください。 特に、ヘッドボード、フットボードには乗らないでください。 転倒や破損してケガをする原因になります。		マットレスには上下の向きがあります。 必ず正しい向きで使用してください。 間違った方向で使用した場合、ケガや破損の原因になります。
	マットレスを載せていない床板の上には、直接乗らないでください。 破損してケガをするおそれがあります。		マットレスは、無理に折り曲げないでください。 変形や破損の原因になります。
	ベッドを引きずらないでください。 床が傷ついたりベッドが破損する原因になります。		ベッドの設置場所を変える場合は、すべてのコード類をはずし、組立順序の逆の手順で分解して移設してください。
			組み立て・移動は必ず2人以上で行ってください。 ケガや破損してケガをするおそれがあります。






充電機能についての注意（充電機能がついたタイプのみ）

警告

	対応機器以外のものを充電部に置かないでください。 発熱や発火、やけど、破損の原因になります。		充電中にタオルやシーツ類がかぶさらないようにしてください。 発熱や発火、やけどの原因になります。
	充電部付近にアルミや金属製のシールを貼らないでください。 発熱や発火、やけど、破損の原因になります。		ペースメーカーをお使いの方は、医師にご相談の上で使用ください。 充電部とペースメーカーを十分離してご使用ください。 電磁波の影響によりペースメーカーに異常がみられる場合は直ちにご使用を中止してください。
	対応機器のカバーなどは外してご使用ください。 発熱や発火、やけどの原因になります。		
	充電部と対応機器の間に異物などを置かないでください。 発熱や発火、やけどの原因になります。		


安全のために必ずお守りください

⚠ 注意




	過充電防止機能のない対応機器は充電が完了したら充電部から外してください。 発熱や発火、やけど、破損の原因になります。		5℃～35℃の環境でご使用ください。 発熱や発火、誤動作の原因になります。
	磁気カードや磁気記憶メディアなどを充電部に近づけないでください。 データが消えてしまう恐れがあります。		充電部と対応機器の接する面はゴミなどの異物を取り除いてご使用ください。 発熱や発火、やけど、破損の原因になります。
	対応機器の説明書をよくお読みになりご使用ください。 発熱や発火、やけど、破損の原因になります。		

ワイヤレスコントローラーについての注意

⚠ 警告

	ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内埋め込み型医用電気機器を使用している人は、必ず医師と相談のうえ使用してください。 事故や体調不良を起こす原因になります。
---	--

⚠ 注意

	乾電池は誤った使いかたをしない。 事故や故障の原因になります。 (+)と(－)を逆に入れない。 乾電池は充電しない。 分解や過熱したり、水の中に入れたりしない。 ネックレスなどの金属物と一緒にしない。 被覆の剥がれた乾電池は使わない。 長期間使用しないときはコントローラーに入れたままにしない。 新旧、異種の乾電池を混用しない。	<ul style="list-style-type: none">・コントローラーの位置や向きにより、ベッドが動いたり動かなかったりする場合があります。・金属構造物付近や遮へいされた場所などでは受信しにくいことがあり、動作距離が短くなる場合があります。・高周波機器や高圧機器、電子機器、溶接機器など、もしくはそれらを使っている工場などが付近にあるとき、電磁ノイズを拾って動作距離が著しく短くなる場合があります。・コントローラーを2台以上使用して操作を行う場合は、コントローラー同士を1m以上離してください。混信により動作不良の原因となります。<ul style="list-style-type: none">- コントローラーのボタンを同時に押すと、動作しない場合があります。その際は、それぞれ再度ボタンを押し直してください。
	指定以外の乾電池を使用しない。 事故や故障の原因になります。	
	乾電池を火中に投入しない。 乾電池が破裂し、ケガや事故の原因になります。	

ワイヤレスコントローラーの周波数について

本製品は2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運営されていないことを確認して下さい。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して下さい。
3. その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「アフターサービス」へお問い合わせ下さい。

2.4 XX 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてGFSK方式を採用しています。
与干渉距離は10m以下です。

Wi-Fi についての注意



警告



ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内埋め込み型医用電気機器を使用している人は、必ず医師と相談のうえ使用してください。
事故や体調不良を起こす原因になります。

Wi-Fi の周波数について

本製品は 2.4GHz 帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運営されていないことを確認して下さい。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して下さい。
3. その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「アフターサービス」へお問い合わせ下さい。

無線の規格 IEEE 802.11 b/g/n 2.4 GHz

接続方法 WPS【プッシュボタン方式】（ルーター接続）

セキュリティプロトコル

WPA2（直接接続）

WPA, WPA2, AES（ルーター接続）

2.4 DS/OF 4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。
変調方式として DSSS と OFDM 方式を採用しています。
与干渉距離は 40m 以下です。

※ 本製品は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線 LAN）を内蔵しています。

※ 本製品に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。

※ 本製品は公衆 LAN への接続には対応していません。

※ 無線電波状況により、接続できない場合もあります。

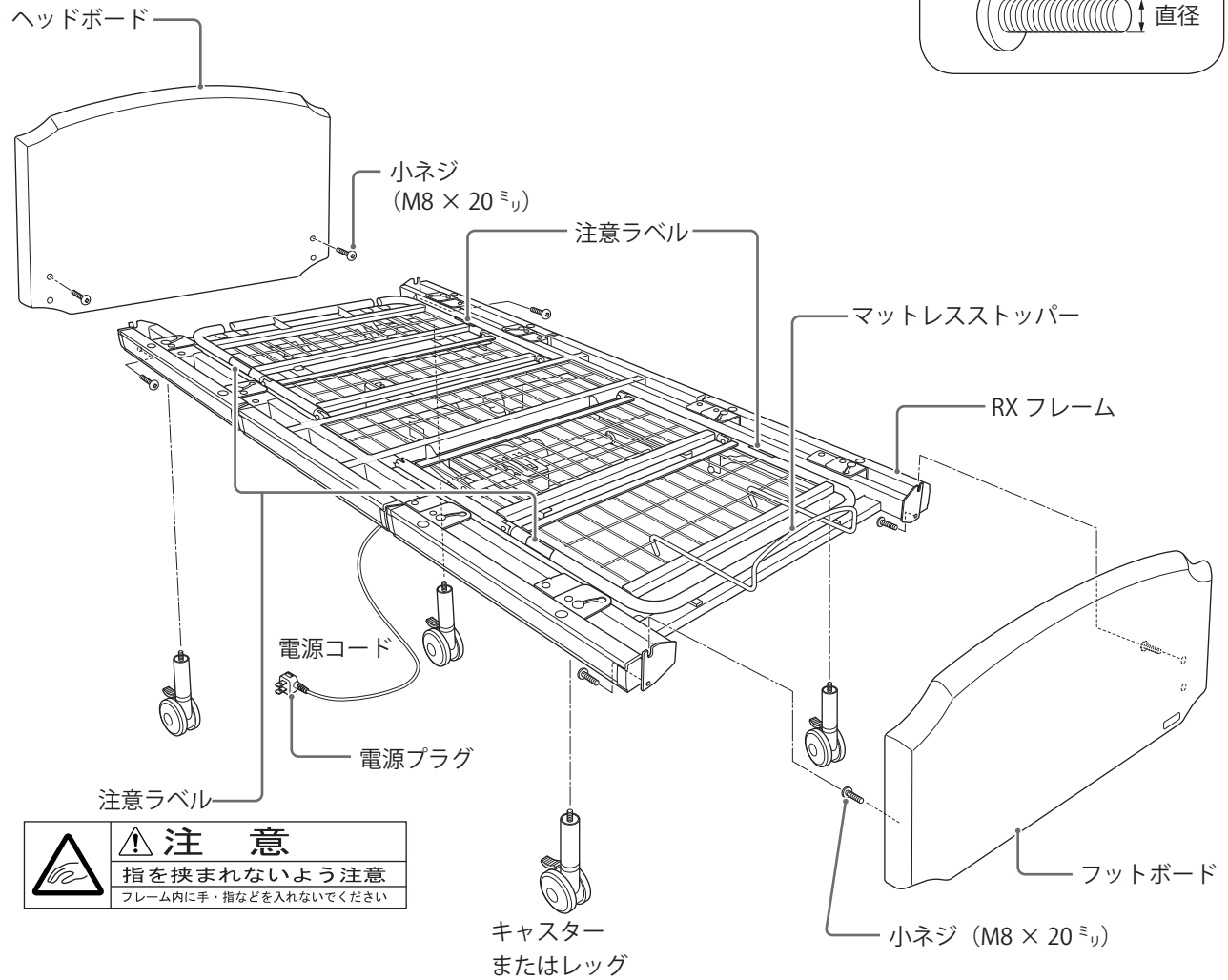
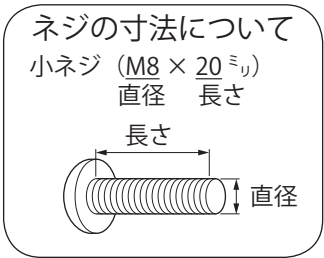
※ Wi-Fi 接続に関する情報（SSID と KEY）を知ると電波の届く範囲内のあらゆるスマートフォンやパソコンから操作できてしまいます。これらの情報は厳重に管理してください。

部品の覧覧・各部のなまえ

ベッドの組み立てを行う前に、以下の部品がそろっているか確認してください。
コントローラーについては、18ページの「コントローラーの使いかた（2 モーター／3 モータータイプ）」をご覧ください。

2 モータータイプの場合

部品名称	部品数	梱包数
ヘッドボード	1	1
小ネジ（M8 × 20 ミリ）	4	
フットボード	1	
小ネジ（M8 × 20 ミリ）	4	
RX フレーム	1	1
マットレスストッパー	1	1
キャスターまたはレッグ	4	



本製品には上図のように注意ラベルが貼付してあります。ご使用前に注意ラベルの場所と注意の内容を確認してください。

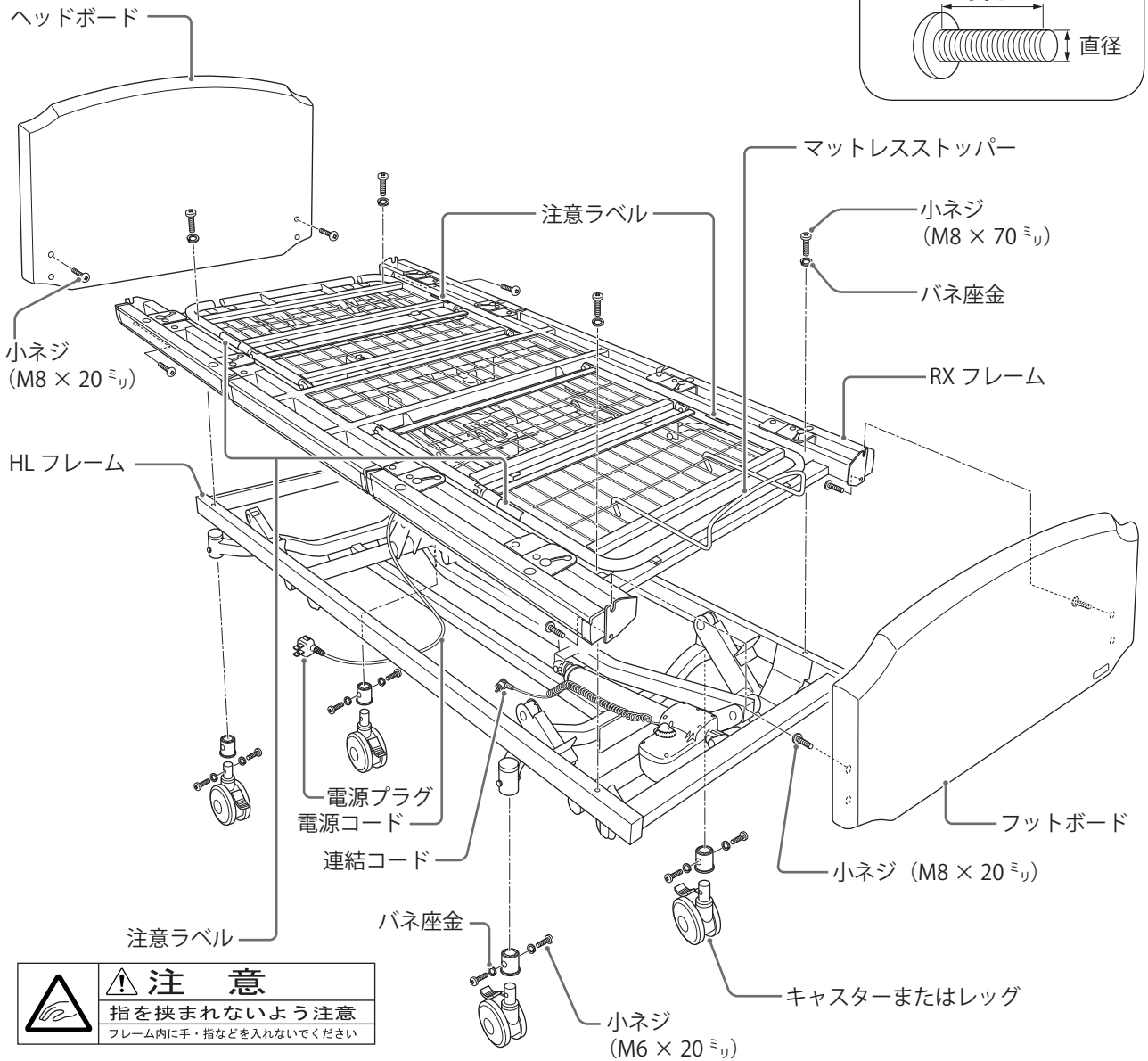
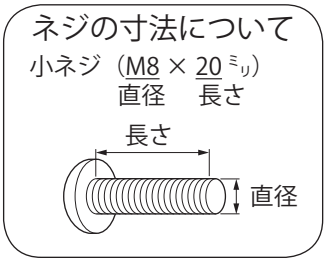
部品の一覧・各部のなまえ

ベッドの組み立てを行う前に、以下の部品がそろっているか確認してください。
コントローラーについては、18ページの「コントローラーの使いかた（2 モーター／ 3 モータータイプ）」または21ページの「コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）」をご覧ください。

3 モーター／ 4 モータータイプの場合

部品名称	部品数	梱包数
ヘッドボード	1	1
小ネジ（M8 × 20 ミリ）	4	
フットボード	1	
小ネジ（M8 × 20 ミリ）	4	
RX フレーム	1	1
マットレスストッパー	1	

部品名称	部品数	梱包数
HL フレーム	1	1
小ネジ（M8 × 70 ミリ）	4	
バネ座金	4	
キャスターまたはレッグ	4	1



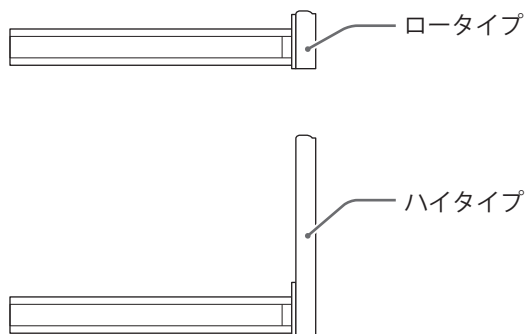
本製品には上図のように注意ラベルが貼付してあります。ご使用前に注意ラベルの場所と注意の内容を確認してください。

組み立て方法

型式によりデザイン形状が異なりますが、組み立て方法は同じです。
組み立てにはプラスドライバーが必要です。

ご注意

- 組み立て作業は2名以上で行ってください。ケガをしたりベッドを破損する原因になります。
- フットボードがハイタイプの場合、マットレスストッパーは使用しません。マットレスストッパーを取り付けて使用すると、フットボードを傷つけたり、RX フレームが正しく動作しない場合がありますので使用しないでください。



組み立ての準備をする

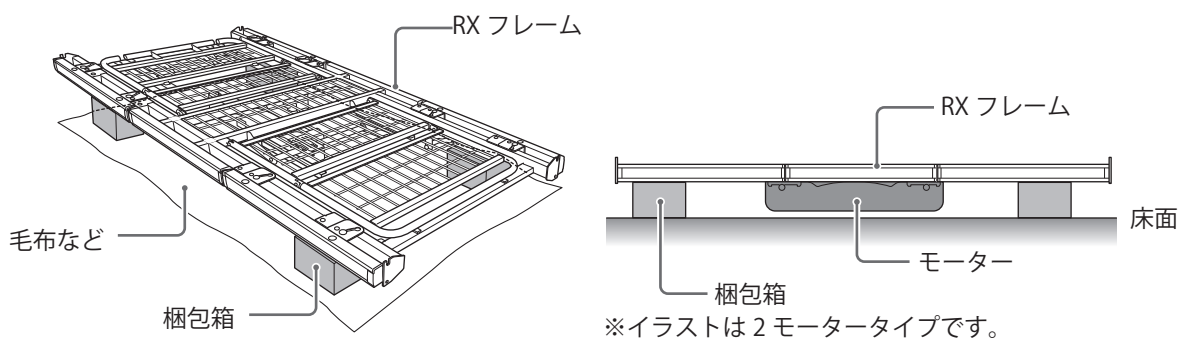
1. ベッドの設置場所を決める

- 頭側の向きを確認して、ヘッドボードは頭側になるように設置してください。
- コンセントの位置、家具の引き出し、および扉などの開閉に支障がないことを確認してください。

2. 本製品と床面を保護するために毛布などを敷く

2 モータータイプの場合

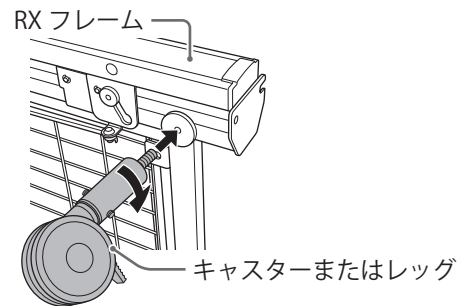
RX フレームは構造上モーターが下側に出っ張って付いています。そのまま床に置くと不安定になるので、本製品と床面を保護するために毛布などを敷き、梱包箱を台にして安定させると組み立てが容易になります。



ベッドを組み立てる（2 モータータイプ）

1. キャスターまたはレッグを取り付ける

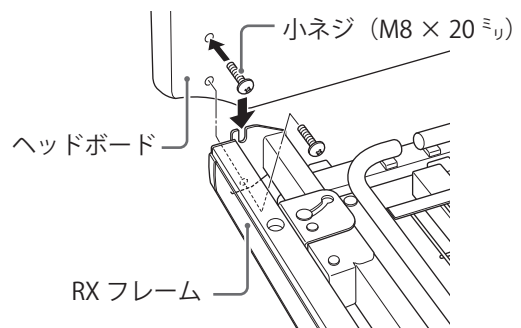
RX フレームの角にあるネジ穴にキャスターまたはレッグをねじ込みます。4 か所ともしっかりと確実に取り付けてください。



2. ヘッドボードを仮組みする

左右とも同じように行ってください。

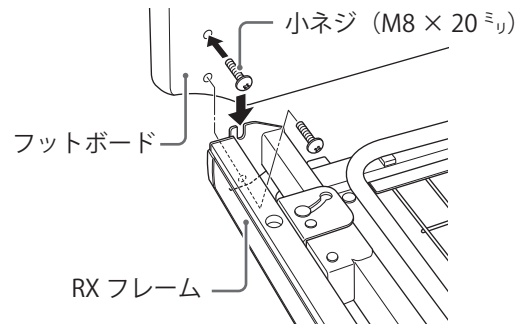
- ① ヘッドボード下部のネジ穴（上段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。
- ② 仮止めした小ネジを RX フレームの金具に引っ掛けます。
- ③ ネジ穴（下段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。



3. フットボードを仮組みする

左右とも同じように行ってください。

- ① フットボード下部のネジ穴（上段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。
- ② 仮止めした小ネジを RX フレームの金具に引っ掛けます。
- ③ ネジ穴（下段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。

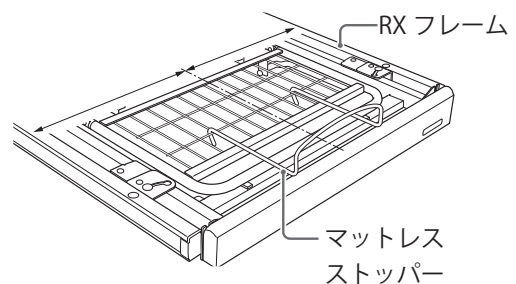


4. 小ネジ（計 8 個）を締め付ける

ヘッドボードとフットボード双方の小ネジが RX フレームに引っ掛かっていることを確認してから、小ネジをしっかり締め付けてください。

5. RX フレームにマットレスストッパーを取り付ける

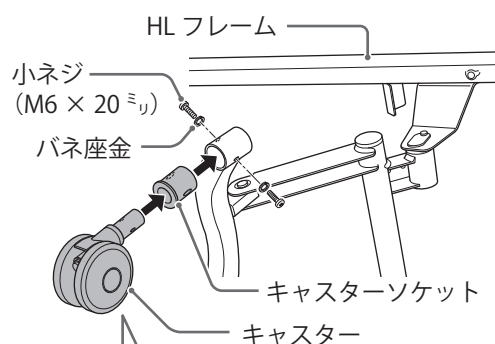
- ・ フットボードがロータイプの場合、マットレスストッパーが必要です。
- ・ ハイタイプの場合、フットボードの場合、マットレスストッパーを取り付けなくても大丈夫です。フットボードを傷つけたり、RX フレームが正しく動作しない場合があります。
- ・ マットレスストッパーが中央にくるように RX フレーム脚側のワイヤーメッシュに引っ掛けてください。



ベッドを組み立てる (3 モーター／4 モータータイプ)

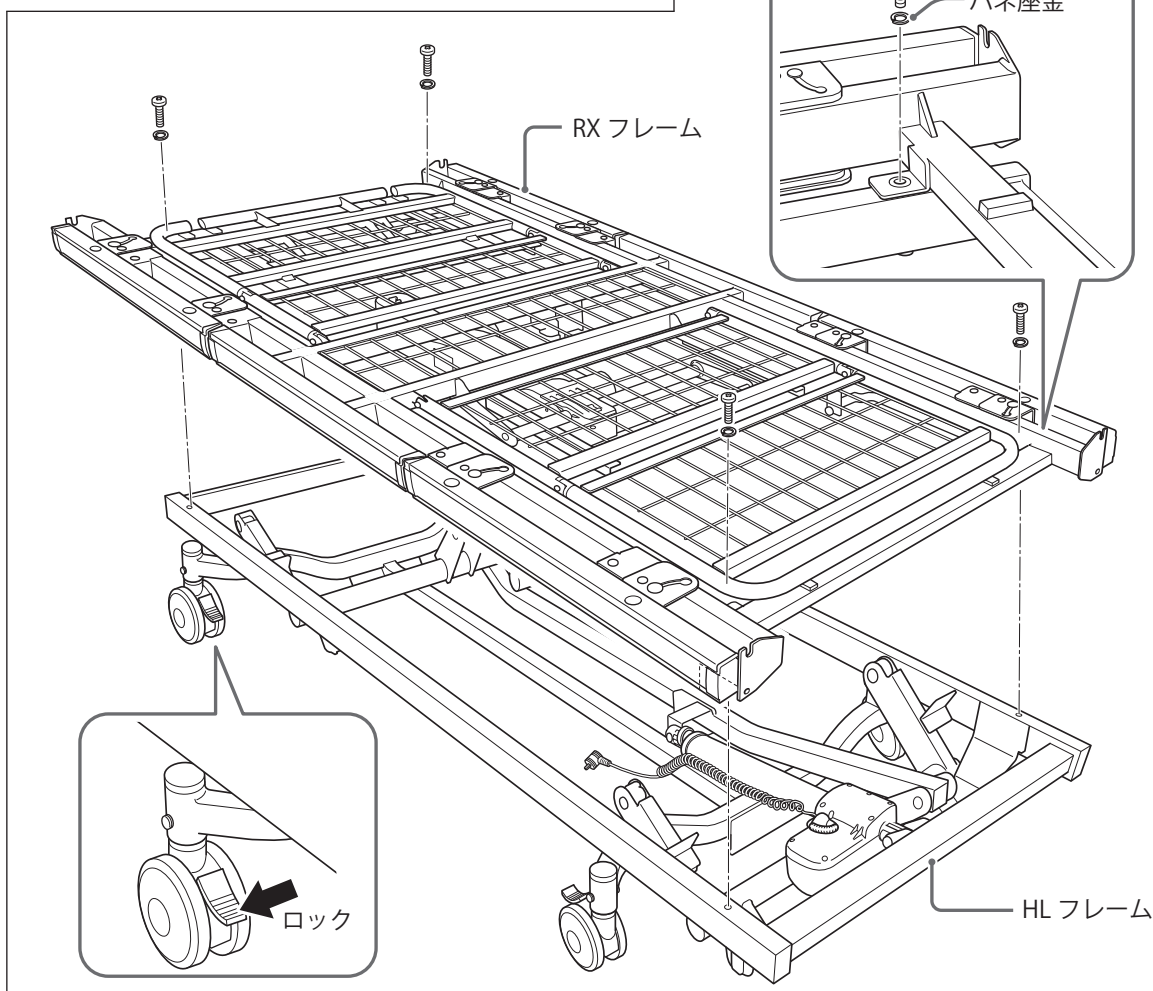
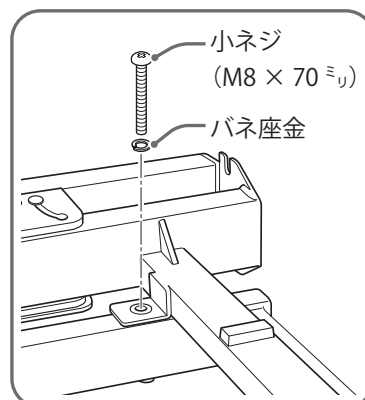
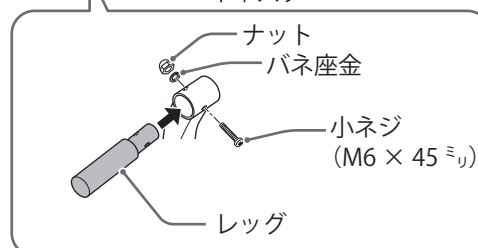
1. キャスターまたはレッグを取り付ける

HL フレームの取り付け穴にキャスターまたはレッグを差し込み、小ネジ (M6 × 20 ミリ) ・ バネ座金で確実に締め付けてください。4 か所ともしっかりと確実に取り付けてください。



2. HL フレームに RX フレームを取り付ける

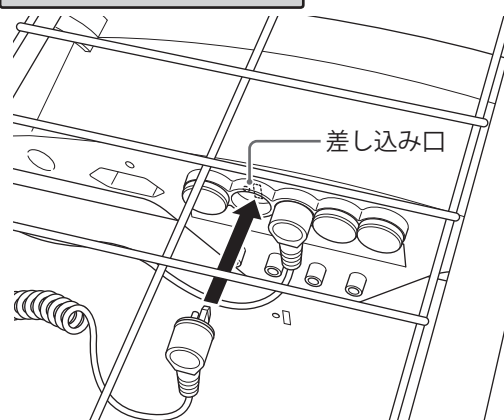
- ① キャスターを使用している場合は、HL フレームが不意に動かないように、キャスターをロックします。
- ② HL フレームと RX フレームの穴を合わせるようにして、HL フレームの上に RX フレームをゆっくりと載せます。
- ③ 合わせた取り付け穴に、小ネジ (M8 × 70 ミリ) ・ バネ座金を仮止めします。4 か所とも仮止めしてから、小ネジを確実に締め付けます。



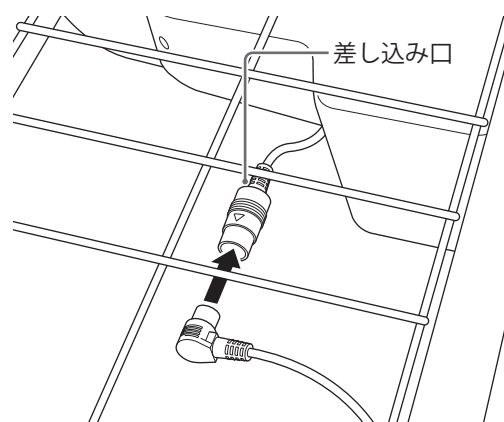
3. ハイローモーターから出ているコード先端のコネクターをRX フレームのモーター側の差し込み口に差し込む

- 差し込み口にキャップが付いている場合は、キャップを外してください。
- ピンの向きに注意して差し込んでください。

3 モータータイプの場合



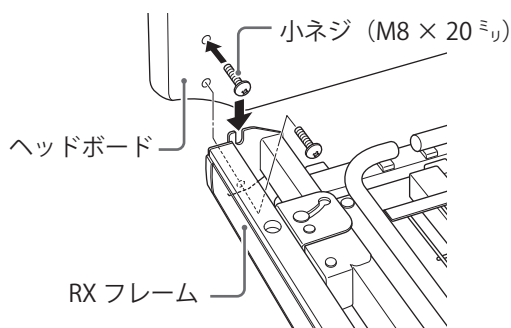
4 モータータイプの場合



4. ヘッドボードを仮組みする

左右とも同じように行ってください。

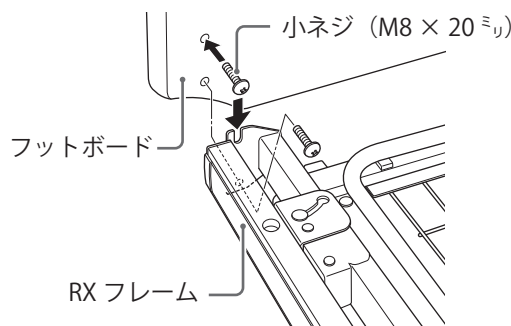
- ① ヘッドボード下部のネジ穴（上段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。
- ② 仮止めした小ネジをRX フレームの金具に引っ掛けます。
- ③ ネジ穴（下段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。



5. フットボードを仮組みする

左右とも同じように行ってください。

- ① フットボード下部のネジ穴（上段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。
- ② 仮止めした小ネジをRX フレームの金具に引っ掛けます。
- ③ ネジ穴（下段）に小ネジ（M8 × 20 ミリ）を仮止めします。

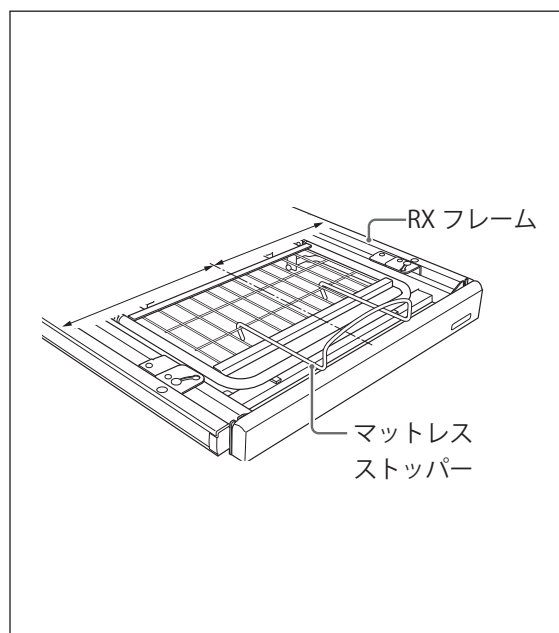


6. 小ネジ（計 8 個）を締め付ける

ヘッドボードとフットボード双方の小ネジが RX フレームに引っ掛かっていることを確認してから、小ネジをしっかりと締め付けてください。

7. RX フレームにマットレスストッパーを取り付ける

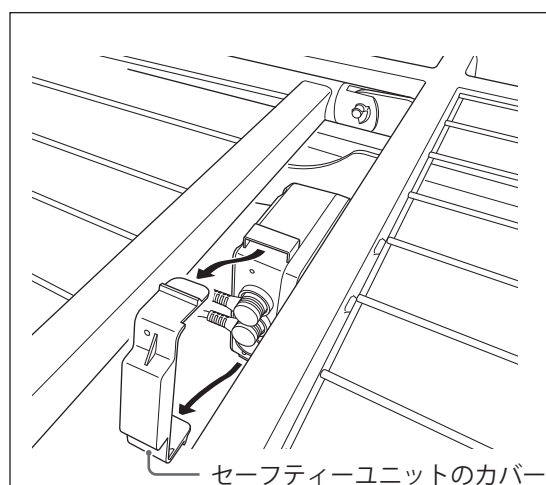
- ・ フットボードがロータイプの場合、マットレスストッパーが必要です。
- ・ ハイタイプのフットボードの場合、マットレスストッパーを取り付けしないでください。フットボードを傷つけたり、RX フレームが正しく動作しない場合があります。
- ・ マットレスストッパーが中央にくるように RX フレーム脚側のワイヤーメッシュに引っ掛けてください。



コントローラーの準備をする（ワイヤードコントローラーの場合）

2 モーター / 3 モータータイプの場合

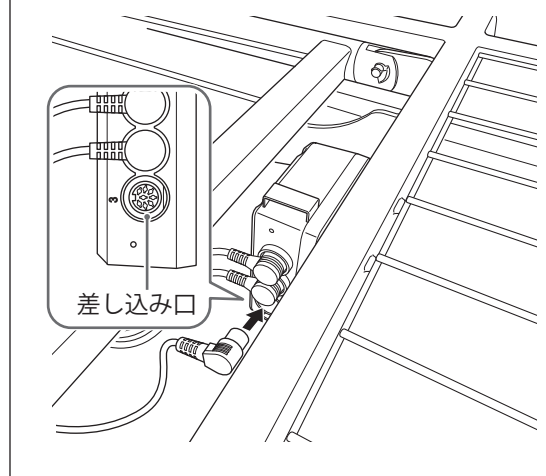
1. セーフティーユニットのカバー先端を少しおさえて、カバーをはずす



2. コントローラーから出ているコード先端のコネクターをセーフティーユニットの差し込み口に差し込む

- ・ ピンの向きに注意して差し込んでください。

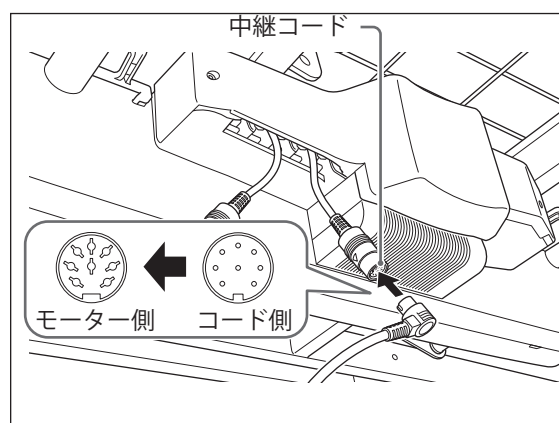
3. セーフティーユニットのカバーをはめる



組み立て方法

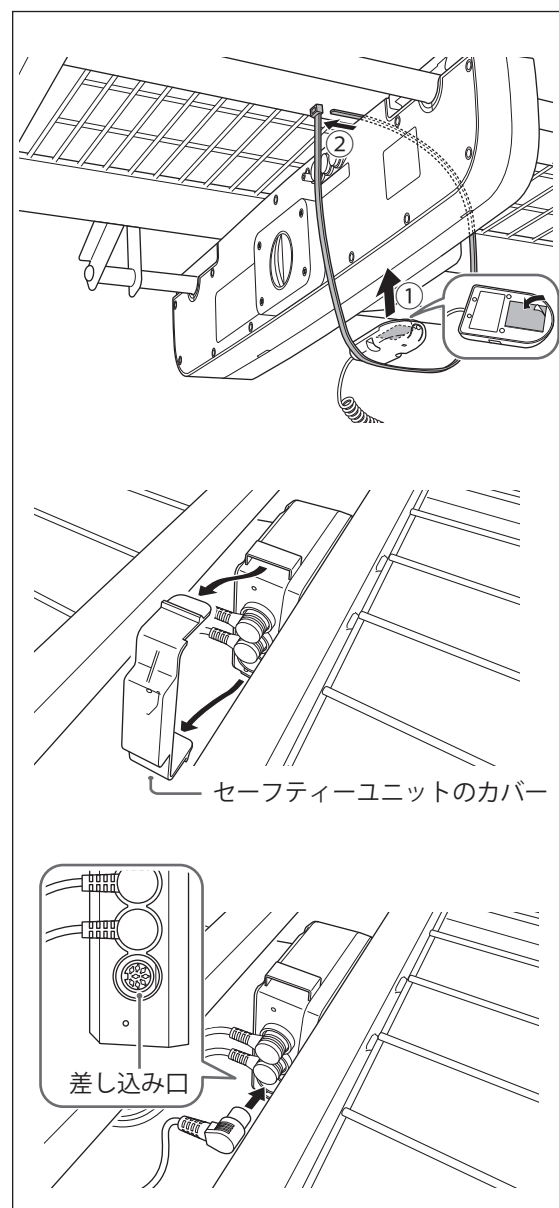
4 モータータイプの場合

1. コントローラーから出ているコード先端のコネクターをモーター側の差し込み口から出ている中継コードに差し込む
 - ・ ピンの向きに注意して差し込んでください。



コントローラーの準備をする（ワイヤレスコントローラーの場合） （2 モーター／3 モータータイプ）

1. ワイヤレス受信機をモーターの底面に取り付ける
モーター脚側の上部にあるループの真下に受信機の凹みがくるように両面テープで貼り付けてください。
2. 落下防止のために結束バンドでも固定する
モーター上部のループと受信機の凹みに結束バンドが通るようにしてください。
3. セーフティーユニットのカバー先端を少しおさえて、カバーをはずす
4. ワイヤレス受信機から出ているコード先端のコネクターをセーフティーユニットの差し込み口に差し込む
 - ・ ピンの向きに注意して差し込んでください。
 - ・ タイプによりピン数は異なります。
5. セーフティーユニットのカバーをはめる
6. ワイヤレスコントローラーに電池を入れる
 - ・ 電池の入れかたについては、18 ページの「コントローラーに電池を入れる」をご覧ください。



電源に接続して、マットレスを載せる

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

ご注意

コントローラーと電源コードは、電動フレームの下側から外に出してください。

2. ワイヤレスコントローラーの場合は、ペアリングを実行する

- ペアリングについては、18 ページの「ペアリングする」をご覧ください。

3. 動作確認をする

- すべての部品が確実に取り付けられていることを確認してください。
- 19 ページの「コントローラーを操作する」または 21 ページの「コントローラーの使いかた (4 モータータイプ)」をご覧ください。それぞれの機能が正しく動作していることを確認してください。

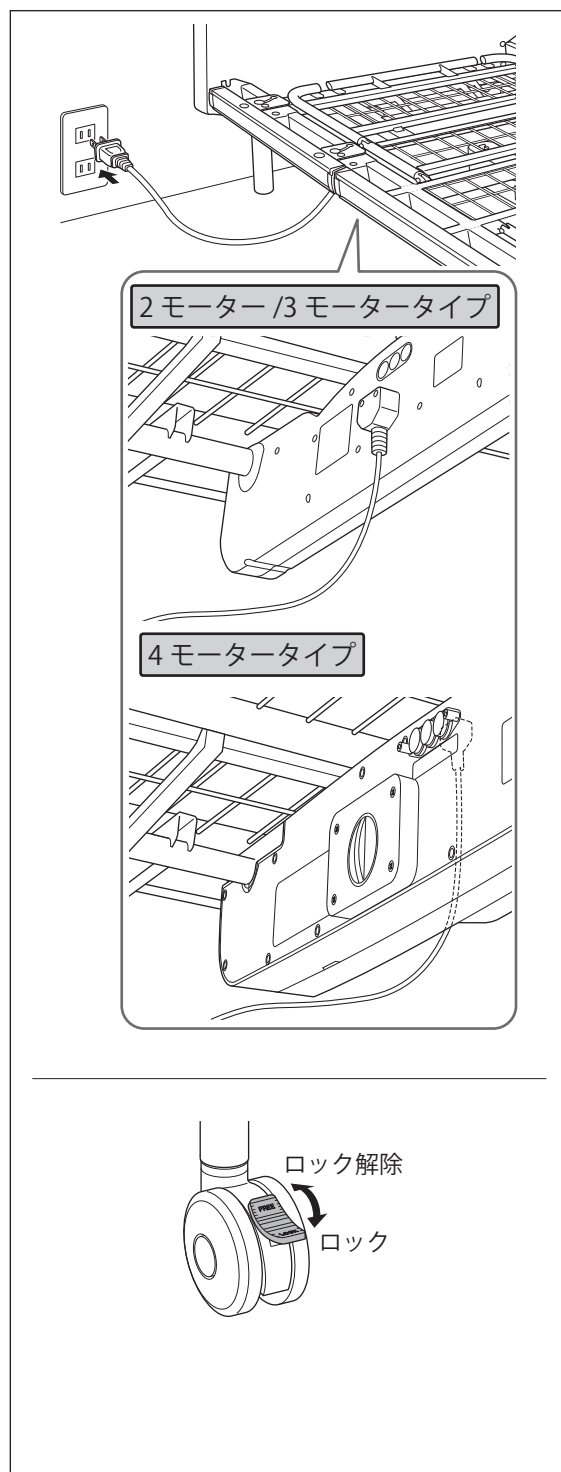
ご注意

ベッドの電動操作をするときに、各コードがフレームなどに挟まれていないことを確認してください。

4. マットレスを載せる

キャスターを使用している場合のご注意

- ベッドを移動しないときは、キャスターをロックしてください。
- ロックした状態でベッドを移動しないでください。



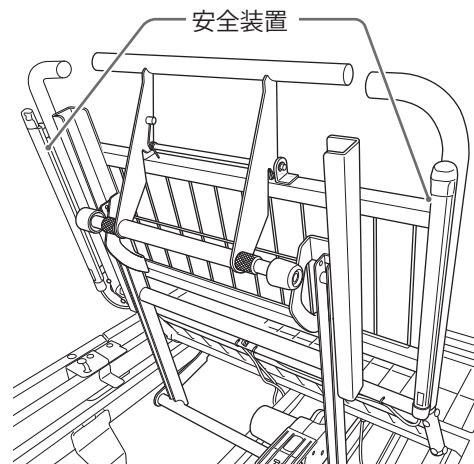
安全装置について

リクライニング背部の左右には、安全装置が装備されています。背部を下げる際、安全装置に一定以上の負荷が加わると、警告音（ピーー）が鳴り、すぐに背部の動きが停止し、その後で背部が少し上がって挟み込みを回避します。

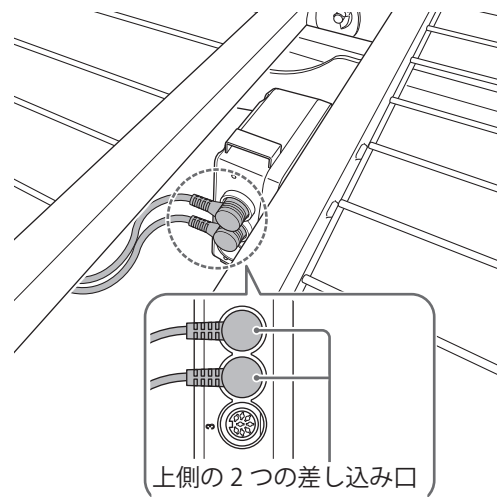
■ 安全装置の接続について

安全装置の接続は、右の図のように接続されています。工場出荷時に接続済みですが、緩んだり、はずれたりしたときは、接続し直してください。

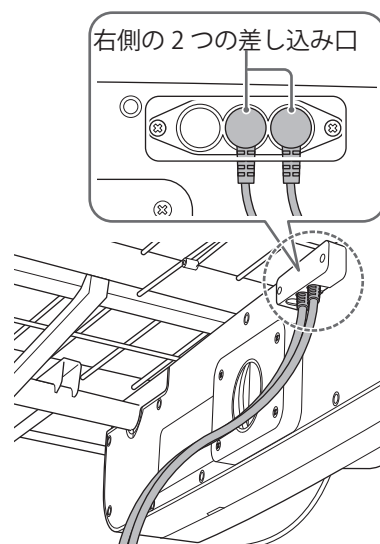
- 安全装置差し込み口は、左右の区別がないので、どちらに接続しても問題ありません。
- 4 モータータイプには、差し込み口にコードカバーが装着されています。確認するときは、コードカバーをはずしてください。



2 モーター / 3 モータータイプ



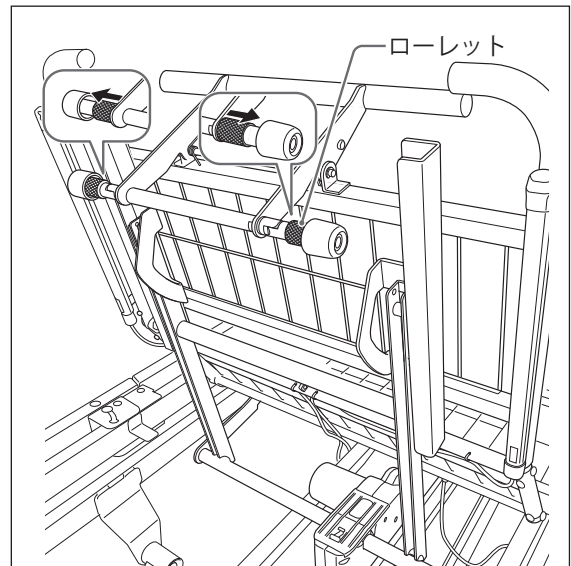
4 モータータイプ



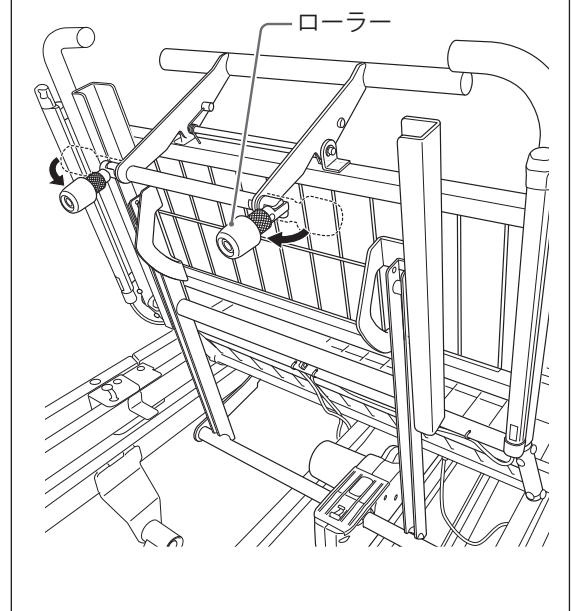
ヘッドアップ機能を解除する(2モーター／3モータータイプ)

背部の首部分は、背上げをしても、寝ているかたの顔が正面を向くように、自動的に調整されます(ヘッドアップ機能)。この機能は解除することができます。

1. 背部を上げる
2. 左右のローレットを外側にスライドする



3. 左右のローラーを内側に折り曲げる



■ ヘッドアップ機能を使用するときは

ローラーを外側に折り曲げて、ローレットを内側にスライドしてください。左右とも同じように行ってください。

快適にお使いいただくために

快適にお使いいただくために、オプション品を用意しております。ご購入される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



コントローラーの使いかた(2 モーター／3 モータータイプ)

以下の部品がそろっているか確認してください。

ワイヤードコントローラーの場合

部品名称	部品数	梱包数
コントローラー	1	1
フック	1	

ワイヤレスコントローラーの場合

部品名称	部品数	梱包数
コントローラー	1	1
ワイヤレス受信機	1	
フック	1	
両面テープ (ワイヤレス受信機に貼り付け済み)	1	
結束バンド	1	
単 4 型乾電池	3	

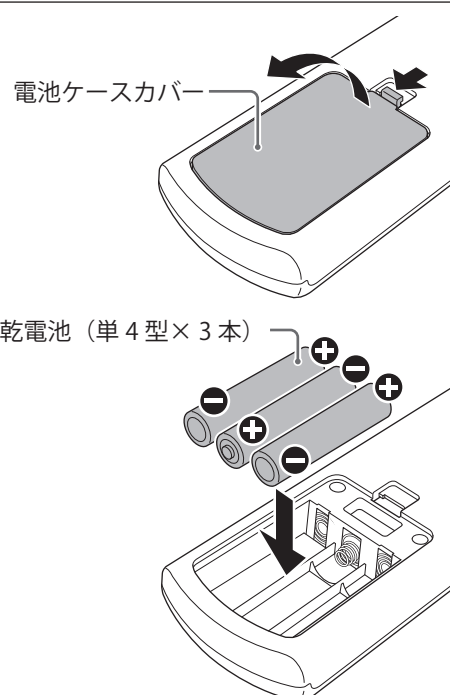
コントローラーの準備をする

ワイヤレスコントローラーのみ

■ コントローラーに電池を入れる

1. 電池ケースカバーのツメを引き上げて、カバーを開ける
2. 単 4 型乾電池 3 本を入れる
電池の向きを間違えないようにして、⊖側から入れてください。
3. 電池ケースカバーを閉じる

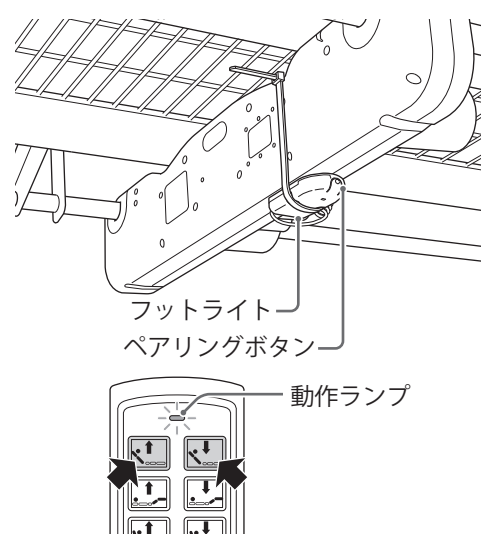
・ 付属の乾電池は動作確認用です。



ワイヤレスコントローラーのみ

■ ペアリングする

1. ワイヤレス受信機のペアリングボタンを 2 回押す (ダブルクリック)
ワイヤレス受信機のフットライトが点灯して、待機状態になります。
2. ワイヤレス受信機から 30cm 以内で、フットライトが点灯している間 (約 20 秒) にコントローラーの背上げボタンと背下げボタンを同時に長押しする
コントローラーの動作ランプが青く点滅し、フットライトが消灯すると、ペアリングは完了です。



コントローラーの使いかた（2 モーター／3 モータータイプ）

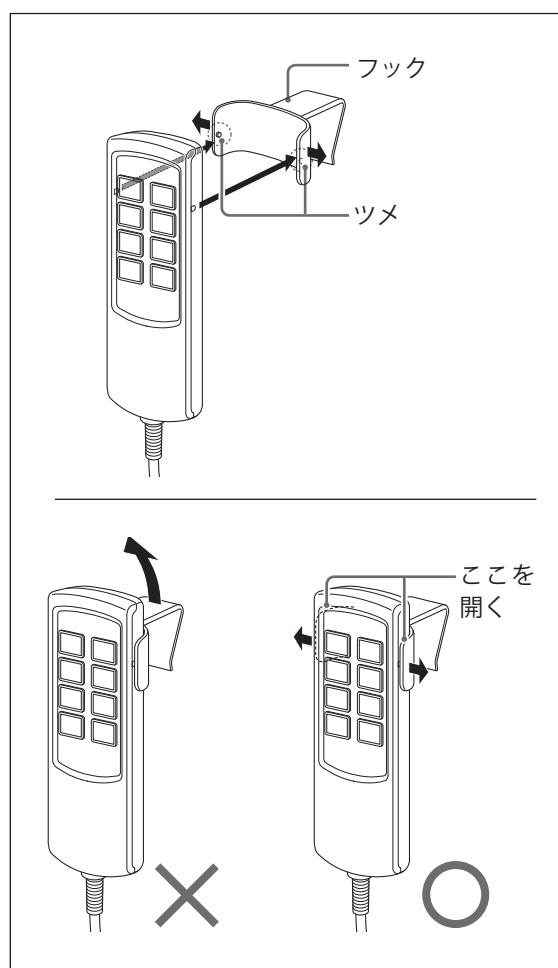
- ・ ペアリングする前の 20 秒程度は、コントローラーのボタンを操作しないでください。
- ・ ペアリングは、ワイヤレス受信機のフットライトが点灯している間（約 20 秒間）に行ってください。

■ コントローラーにフックを取り付ける

コントローラーにフックを取り付けると、ヘッドボードやサイドレールに引っ掛けておくことができます。右図のようにフックのツメをコントローラーの穴に入れるようにして、コントローラーにフックを取り付けてください。

取りはずすときは、フックを少し開き、はずしてください。

- ・ 取りはずすときは、フックを無理に持ち上げないようにしてください。

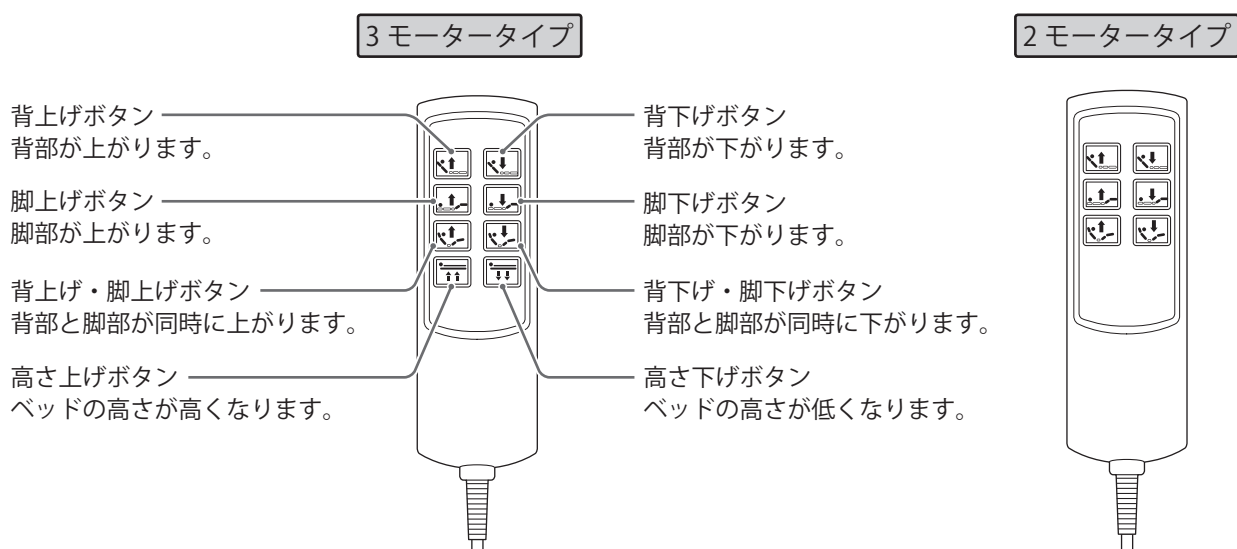


コントローラーを操作する

コントローラーでベッドの背上げ、脚上げ操作が行えます。

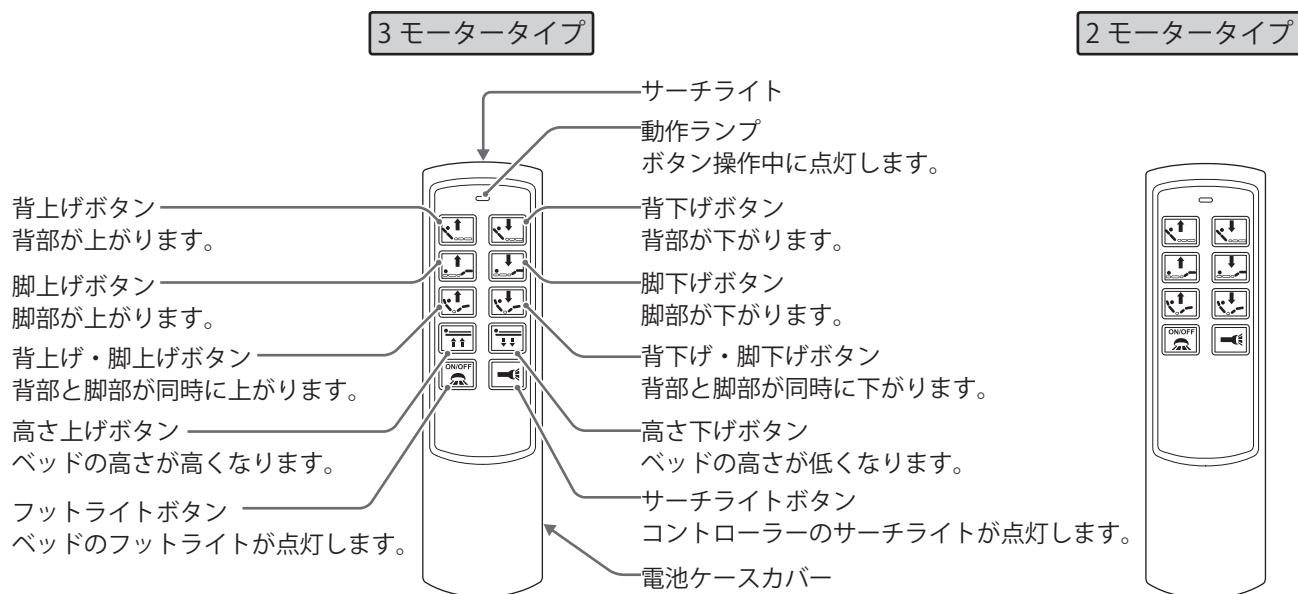
いずれかのボタンを押すと、すべてのボタンが青色に点灯します（バックライト）。約 7 秒後に自動消灯します。

■ ワイヤードコントローラー



コントローラーの使いかた（2 モーター／3 モータータイプ）

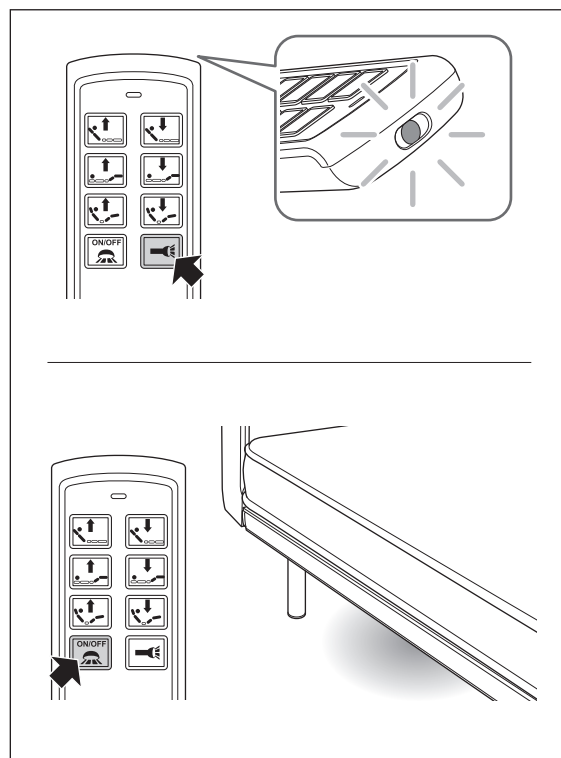
■ ワイヤレスコントローラー



ワイヤレスコントローラーのみ

■ コントローラーのサーチライトをつける

ボタンを押している間、コントローラーのサーチライトが点灯します。



ワイヤレスコントローラーのみ

■ フットライトをつける

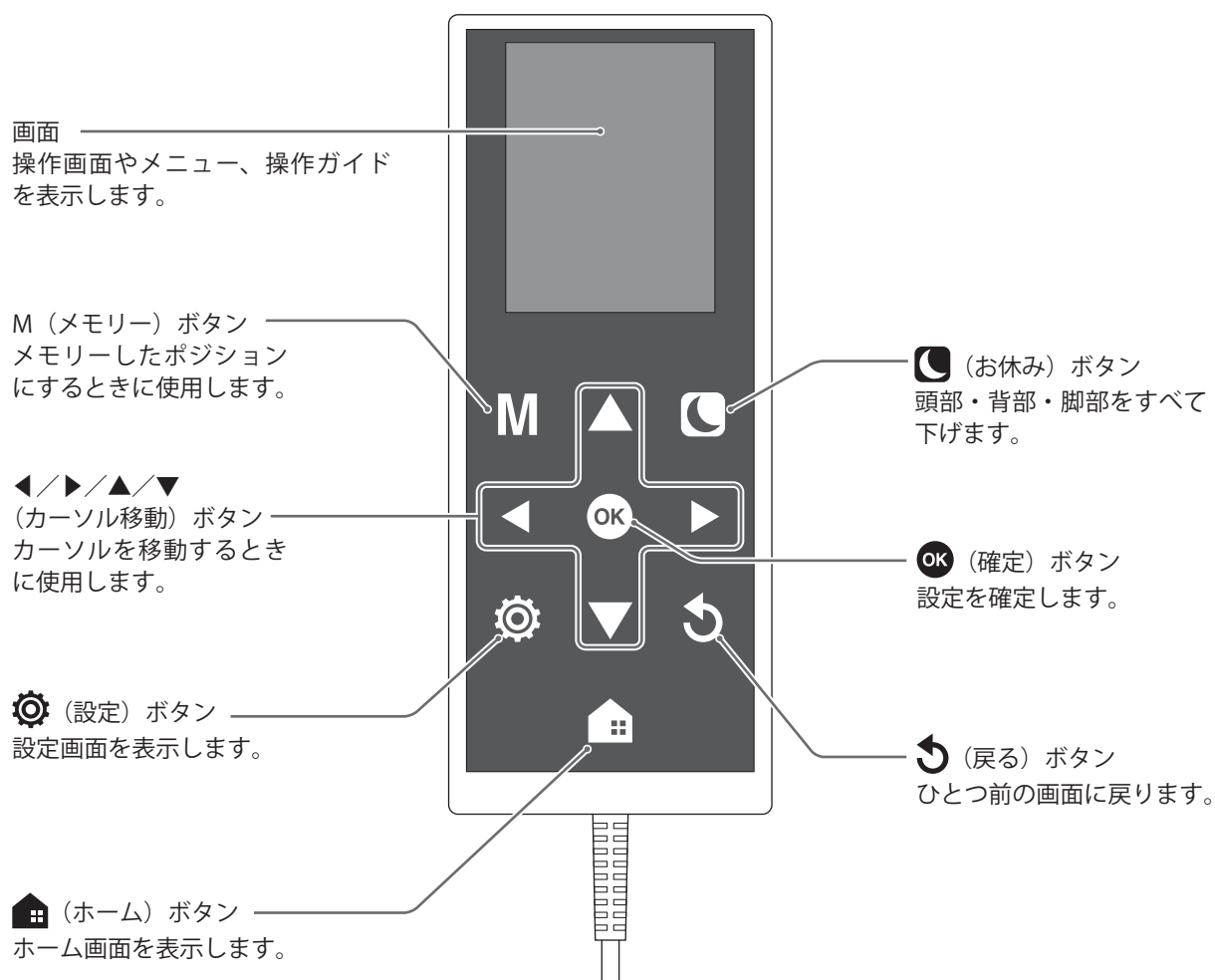
ボタンを押すと、ベッドのフットライトが点灯します。もう1度押すと、消灯します。点灯したままにすると、50 秒後に自動消灯します。

コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

以下の部品がそろっているか確認してください。

部品名称	部品数	梱包数
コントローラー	1	1
フック	1	

コントローラーのボタン



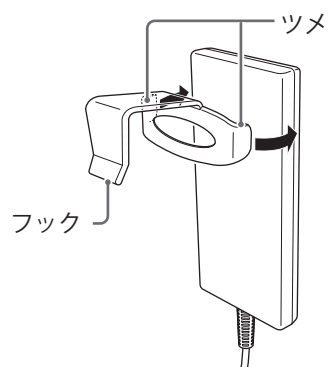
コントローラーの準備をする

■ コントローラーにフックを取り付ける

コントローラーにフックを取り付けると、ヘッドボードやサイドレールに引っ掛けておくことができます。右図のようにして、コントローラーにフックを取り付けてください。

取りはずすときは、フックを少し開き、はずしてください。

- ・ 取りはずすときは、フックを無理にスライドしないようにしてください。

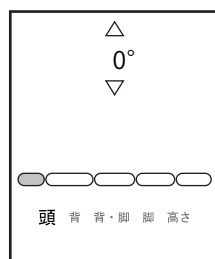


コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

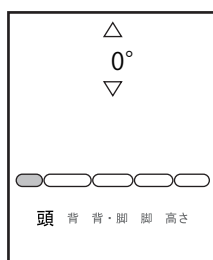
ベッドの角度／高さを調整する

角度と高さの調整は、◀/▶ボタンで動かす部分を選び、▲/▼ボタンを押して動かします。
約 10 秒間操作をしないと、スリープモードになります。

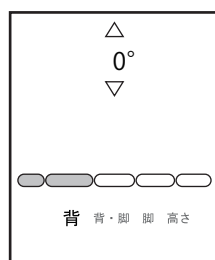
1. 🏠 ボタンを押す
スリープモードのときは、コントローラーの下半分に触れる
ホーム画面が表示されます。



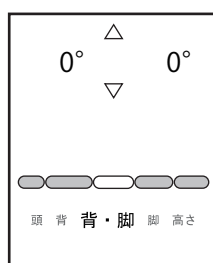
2. ◀/▶ ボタンで動かす部分を選ぶ
選ばれている部分は、青色で表示されます。



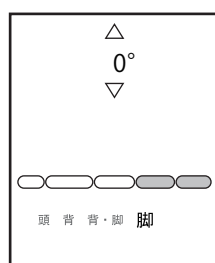
頭部が選ばれているとき



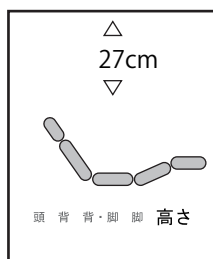
背部が選ばれているとき



背部と脚部が選ばれているとき

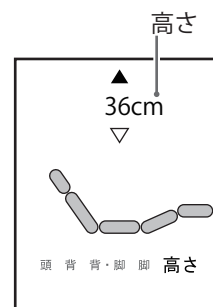
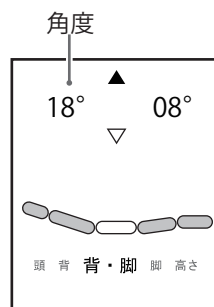


脚部が選ばれているとき



高さが選ばれているとき

3. ▲/▼ ボタンを押したままにする
選んだ部分が上下に動きます。
画面に角度または高さが表示されます。



頭部・背部・脚部をすべて下げる —フルフラット機能

1 回の操作で、頭部・背部・脚部をすべて下げて水平にすることができます。

1. 🌙 ボタンを押したままにする
頭部・背部・脚部が水平になるまで下がります。
途中でボタンから指を離すと、止まります。

ご注意

- ・フルフラット機能では、高さの調整は行われません。

表示される角度や高さについて

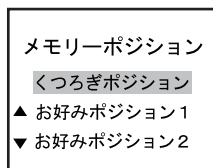
ご使用中の角度や高さを正確に表示するものではありません。
使用環境やご使用になられる方・マットレス・寝装品の重さなどによっても変わります。
お好みのポジション（角度・高さ）の目安としてお使い下さい。

くつろぎポジションにする

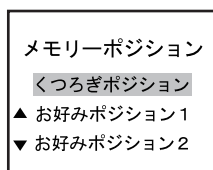
「くつろぎポジション」は、頭部 24°／背部 40°／脚部 30°に設定してあるポジションです。ボタン操作で「くつろぎポジション」にすることができます。

1. M ボタンを押す

メモリーポジション画面が表示されます。



2. ▲／▼ボタンで[くつろぎポジション]を選ぶ



3. **OK** ボタンを押したままにする

頭部・背部・脚部が、あらかじめ設定されている「くつろぎポジション」の角度に調整されます。

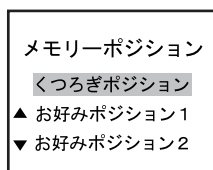
お好みのポジションをメモリーする

ポジションは2つまでメモリーできます。

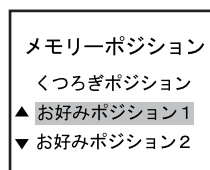
1. ベッドの角度をお好みのポジションに調整する

2. M ボタンを押す

メモリーポジション画面が表示されます。

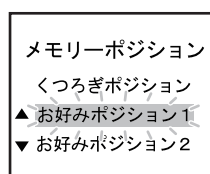


3. ▲／▼ボタンで[お好みポジション1]または[お好みポジション2]を選ぶ



4. M ボタンを3秒間押したままにする

手順3で選んだポジションへのメモリーが完了すると、カーソルが2回、赤く点滅します。

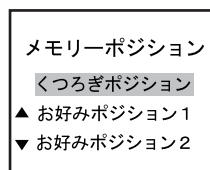


メモリーしたポジションにする —お好みポジション

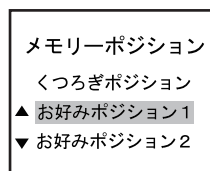
メモリーしたポジションにすることができます。

1. M ボタンを押す

メモリーポジション画面が表示されます。



2. ▲／▼ボタンで[お好みポジション1]または[お好みポジション2]を選ぶ



3. **OK** ボタンを押したままにする



頭部・背部・脚部が、あらかじめメモリーされている角度に調整されます。

コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

コントローラーの設定をする




設定画面でコントローラーの設定ができます。

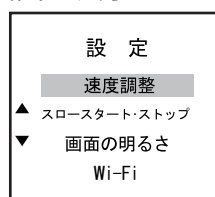
操作中は：

- ・  ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
- ・  ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

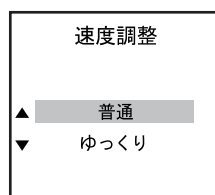
■ 調整時の速度を選ぶ

調整速度は、[普通]または[ゆっくり]から選ぶことができます。


1.  ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2.  ボタンで[速度調整]を選び、
 ボタンを押す
速度調整画面が表示されます。






3.  ボタンで希望の速度を選び、 ボタンを押す





■ スロースタート・ストップ機能を使う

頭部・背部・脚部・高さの電動操作で ボタンを押したとき／離れたとき、約 0.5 秒間減速動作にすることができます。

1.  ボタンを押す
設定画面が表示されます。

2.  ボタンで[スロースタート・ストップ]を選び、 ボタンを押す
スロースタート・ストップ画面が表示されます。






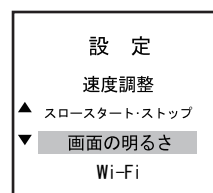
3.  ボタンで機能のオン／オフを選び、 ボタンを押す



■ 画面の明るさを調整する

画面の明るさを調整します。

1.  ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2.  ボタンで[画面の明るさ]を選び、 ボタンを押す
画面の明るさ画面が表示されます。







3.  ボタンで希望の明るさを選ぶ

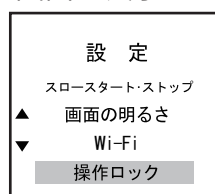



コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

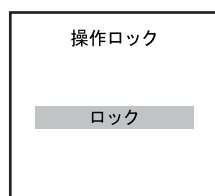
■ 操作ロックする

コントローラーの操作をロックすることができます。


1.  ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2.  /  ボタンで [操作ロック] を選び、
 ボタンを押す
操作ロック画面が表示されます。

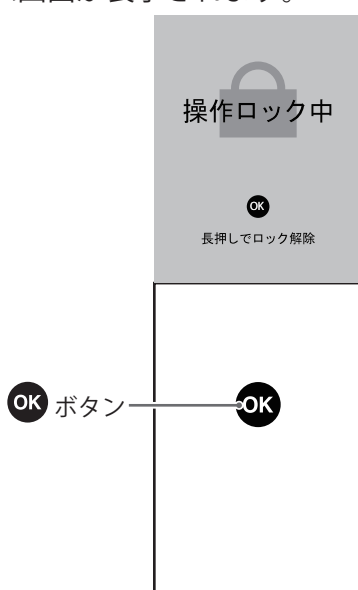


3.  ボタンを押す
「操作ロック中」と表示され、操作ロック状態になります。







操作ロックを解除するときは

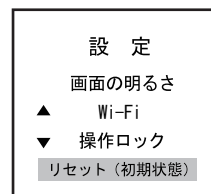
 ボタンを約 3 秒間押したままにしてください。ホーム画面が表示されます。



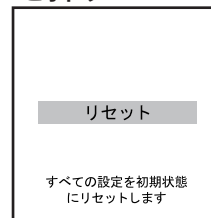
■ 設定をリセットする


設定を初期状態に戻します。

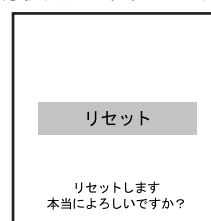
1.  ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2.  /  ボタンで [リセット（初期状態）] を選び、 ボタンを押す
リセット（初期状態）画面が表示されます。



3.  ボタンを押す



4.  ボタンをもう 1 回押す
設定が初期状態に戻ります。



コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

スマートフォンから操作する

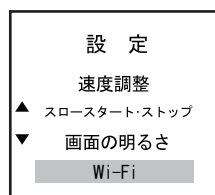
お使いのスマートフォンからベッドの操作をすることができます。



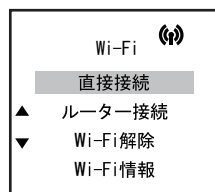
スマートフォン画面の例

■ 直接、スマートフォンに接続する場合

1. ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2. ボタンで [Wi-Fi] を選び、 ボタンを押す
Wi-Fi 画面が表示されます。



3. ボタンで [直接接続] を選び、 ボタンを押す
カーソルが 青 / 赤に点滅し、アンテナマークが表示画面に薄く表示されて接続の準備を行います。
アンテナマークが完全に表示されるとWi-Fiで接続が可能になります。



4. ボタンで [Wi-Fi 情報] を選び、 ボタンを押す
Wi-Fi 情報が画面に表示されます。



5. お使いのスマートフォンの Wi-Fi 機能をオンにしてから、手順 4 で表示されている SSID に接続し、KEY（パスワード）を入力する
6. スマートフォンのブラウザーを起動して、手順 4 で表示されている「直接接続先」を入力する
スマートフォンから操作できるようになります。

Wi-Fi 接続を解除するには

手順 3 で [Wi-Fi 解除] を選んで、 ボタンを押します。



■ ルーター経由で接続する場合

1. ボタンを押す
設定画面が表示されます。
2. ボタンで [Wi-Fi] を選び、 ボタンを押す
Wi-Fi 画面が表示されます。



コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

3. ▲／▼ボタンで[ルーター接続]を選び、**OK** ボタンを押す

カーソルが 青 / 赤に点滅し、アンテナマークが表示画面に薄く表示されて接続の準備を行います。



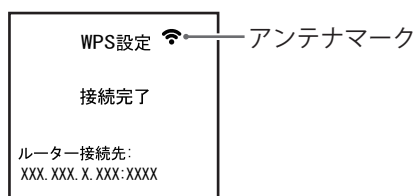
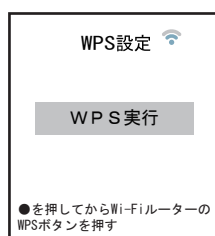
4. ▲／▼ボタンで[WPS 設定]を選び、**OK** ボタンを押す

WPS 設定画面が表示されます。



5. **OK** ボタンを押す

ルーターとの接続を開始します。
接続が完了すると、「接続完了」と表示され、アンテナマークが画面に表示されます。
接続が失敗したときは、「接続失敗」と表示されます。



接続が成功したとき

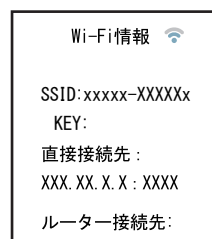


接続が失敗したとき

6. ルーターに接続済みのスマートフォンでブラウザを起動して、画面に表示されている「ルーター接続先」を入力する
スマートフォンから操作できるようになります。

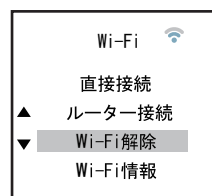
Wi-Fi 接続の情報を表示するには

手順3で[Wi-Fi 情報]を選んで、**OK** ボタンを押します。



Wi-Fi 接続を解除するには

手順3で[Wi-Fi 解除]を選んで、**OK** ボタンを押します。

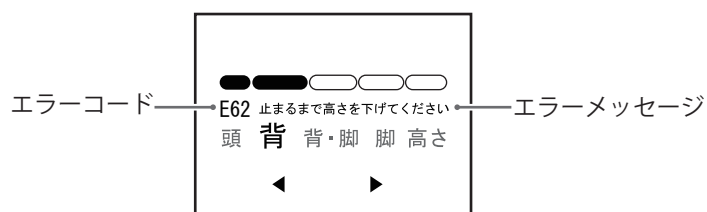


コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

エラー／警告表示一覧

ベッドに異常が起きると、コントローラーの画面に下記のようなエラーコードとエラーメッセージが表示されます。

以下の表の指示にしたがって、対処してください。



コントローラーのエラー

コード	エラーメッセージ	対処	説明
E1	リモコン通信異常	1. 電源プラグをコンセントから抜く 2. コントローラーコードをモーター側コネクタから抜く 3. コントローラーコードをモーター側コネクタに再接続する 4. 電源プラグをコンセントに差し込む	・ コントローラーと通信できない ・ コード断線またはコネクタ接触不良の可能性がある
E2	WIFI 通信異常	1. 電源プラグをコンセントから抜いて差し直す 2. Wi-Fi 接続を行う	Wi-Fi デバイスと通信できない

システムのエラー

コード	表示	対処	説明
E3	モーターリセット	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	予期しないシステムリセットが発生した
E8	メモリー異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	不揮発性メモリーの異常があった

ベッド全体のエラー

コード	エラーメッセージ	対処	説明
E9	異常電流	1. ベッド上からマットレス以外の物を取り除く 2. 電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	・ ソフト監視による過電流エラーがあった ・ モーターに過度な負荷がかかっている ・ モーター故障の可能性がある
E10	異常電流	1. ベッド上からマットレス以外の物を取り除く 2. 電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	・ ハード的な過電流検出があった。 ・ モーターに過度な負荷がかかっている ・ モーター故障の可能性がある

コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

モーター個別のエラー

コード	エラーメッセージ	対処	説明
E11	頭モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中ではないときに頭モーターの回転が検出された
E12	背モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中ではないときに背モーターの回転が検出された
E13	脚モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中ではないときに脚モーターの回転が検出された
E14	高さモーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中ではないときに高さモーターの回転が検出された
E15	頭モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中に頭モーターの回転方向の異常が検出された
E16	背モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中に背モーターの回転方向の異常が検出された
E17	脚モーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中に脚モーターの回転方向の異常が検出された
E18	高さモーター異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	駆動中に高さモーターの回転方向の異常が検出された
E19	—	—	—
E20	背リミット異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	背モーターのリミットスイッチに異常があった
E21	脚リミット異常	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	脚モーターのリミットスイッチに異常があった
E22	—	—	—
E23	頭リレー故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	リレーが OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E24	背リレー故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	リレーが OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E25	脚リレー故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	リレーが OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E26	高さリレー故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	リレーが OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E27	頭 FET 故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	FET が OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E28	背 FET 故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	FET が OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E29	脚 FET 故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	FET が OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された
E30	高さ FET 故障	電源プラグをコンセントから抜いて差し直す	FET が OFF になっているが、頭モーターの回転が検出された

コントローラーの使いかた（4 モータータイプ）

警告

コード	エラーメッセージ	対処	説明
E51	頭の重さを確認	ベッド上の負荷となる物を取り除く	頭モーターに既定以上の過負荷が検出された
E52	背の重さを確認	ベッド上の負荷となる物を取り除く	背モーターに既定以上の過負荷が検出された
E53	脚の重さを確認	ベッド上の負荷となる物を取り除く	脚モーターに既定以上の過負荷が検出された
E54	ベッド上の重さを確認	ベッド上の負荷となる物を取り除く	ハイローモーターに既定以上の過負荷が検出された
E55	しばらくお待ちください	コントローラーの赤色表示が青色に戻るまで頭部を作動させない	頭モーターが定格運転時間を超過した
E56	しばらくお待ちください	コントローラーの赤色表示が青色に戻るまで背部を作動させない	背モーターが定格運転時間を超過した
E57	しばらくお待ちください	コントローラーの赤色表示が青色に戻るまで脚部を作動させない	脚モーターが定格運転時間を超過した
E58	しばらくお待ちください	コントローラーの赤色表示が青色に戻るまで高さ部を作動させない	ハイローモーターが定格運転時間を超過した
E59	止まるまでスリープを実行	頭・背・脚のモーターすべてが停止するまで、  ボタンを押し続けて、一番下まで下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭・背・脚の稼働中に電源をオフにした ・ 頭・背・脚モーターのポジションが不定になっている
E60	止まるまでスリープを実行	頭・背・脚のモーターすべてが停止するまで、  ボタンを押し続けて、一番下まで下げる	頭・背・脚モーターのポジションが不定になっているためメモリーポジション操作ができなくなっている
E61	止まるまで高さを下げて下さい	高さモーターが停止するまで、▼ボタンを押し続けて、高さを一番下まで下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高さの稼働中に電源をオフにした ・ ハイローモーターのポジションが不定になっている
E62	止まるまで高さを下げて下さい	高さモーターが停止するまで、▼ボタンを押し続けて、高さを一番下まで下げる	ハイローモーターのポジションが不定になっているためメモリーポジション操作ができなくなっている

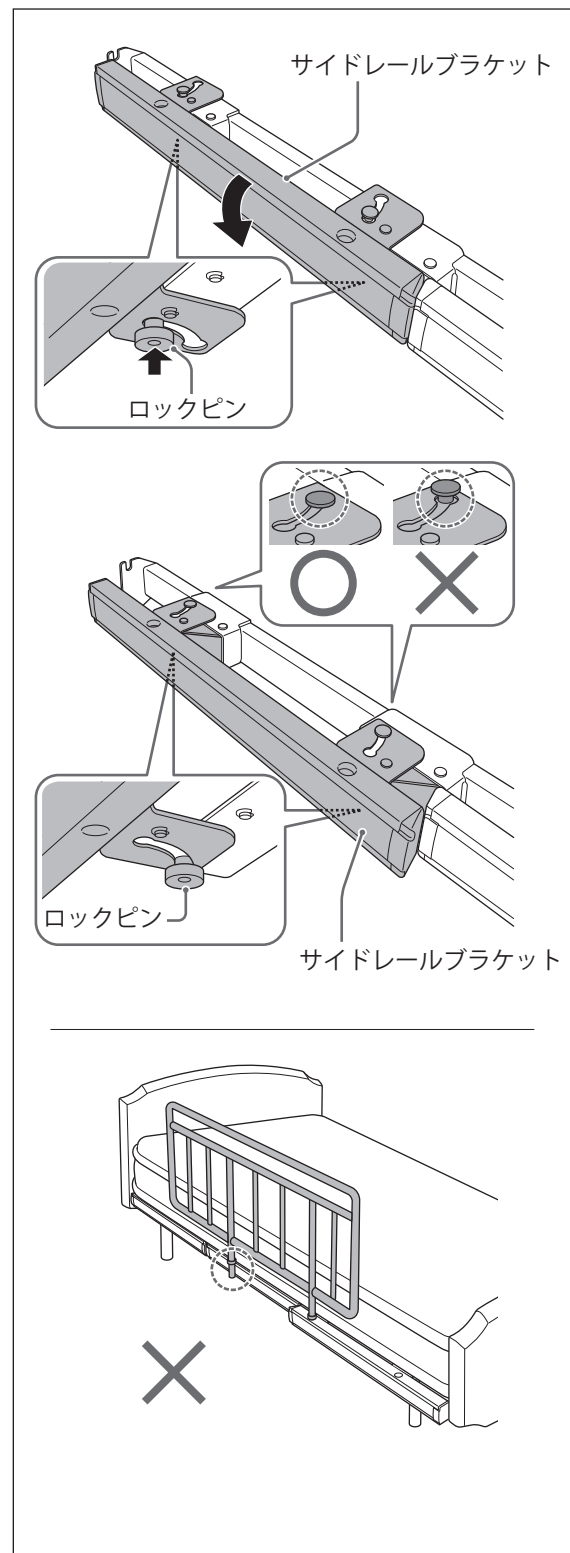
サイドレール・ベッド用グリップについて

サイドレールはベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。ベッド用グリップは転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッド用グリップは、ベッドに乗り降りする方向の頭側に取り付けてください。

サイドレールブラケットの使いかた

サイドレールやベッド用グリップを使用するときは、サイドレールブラケットを引き出してください。

1. ロックピン 2 か所を下側から押したまま、サイドレールブラケットを少し持ち上げながら手前に引き出す
2. ロックピンから指を離し、サイドレールブラケットが正しく引き出されているか確認する
 - ・ サイドレール・ベッド用グリップの取り付けについては、サイドレール・ベッド用グリップの取扱説明書をご覧ください。








間違った使いかたの例

サイドレールやベッド用グリップは、差込部を必ず 2 か所ともサイドレールブラケットに差し込んで使用してください。





サイドレール・ベッド用グリップについて

サイドレール・ベッド用グリップについての注意

警告

	<p>サイドレールやベッド用グリップの隙間に手足、身体、首および物を入れないでください。 サイドレールやベッド用グリップによっては、製品自体に隙間がある場合があります。 また、並べて使用する場合や周囲の壁や家具類などとの間にも隙間が生じます。 背上げ・脚上げなどベッドの操作をするときや寝返りのときなどに、挟まれる可能性があります。 特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、危険な状態を自力で回避することができない方などには注意してください。 また、事故を防止するために隙間を毛布やクッションなどで埋めてください。</p>
	<p>サイドレールやベッド用グリップの組み合わせによっては、思いがけない隙間や危険性が生じる場合があります。必ず弊社指定のサイドレールやベッド用グリップをお選びいただき、組み合わせで使用してください。</p>
	<p>サイドレールは、ベッドからの転落予防・寝具の落ち止めを目的とした補助具です。 ベッド用グリップは、ベッドでの立ち上がりや移乗などの動作を補助する補助具です。 それ以外の目的には使用しないでください。</p>
	<p>使用者によっては、サイドレールやベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。特に厚いマットレスや寝装品との組み合わせによっては、相対的に高さが低くなります。 乗り越えないように注意してください。</p>
	<p>サイドレールやベッド用グリップに寄り掛かったり、腰掛けたり、またがったり、上に乗ったりするなど無理な力を加えるような異常な使いかたはしないでください。 転倒してケガをしたり、破損する原因になります。</p>

注意

	<p>サイドレールやベッド用グリップを持ってベッドを移動したり、無理な力で引っ張ったり、上に乗ったりしないでください。 取り付けネジが緩んだり、ベッドからサイドレールやベッド用グリップがはずれてケガをしたり、破損するおそれがあります。</p>
	<p>構造上、取り付け部がマットレスより出っ張りますので、周囲を移動する、および乗り降りする際は注意してください。 身体をぶつけてケガをするおそれがあります。</p>
	<p>分解改造しないでください。 破損してケガをするおそれがあります。</p>
	<p>ベッドおよび本製品の組立ネジ類が緩んでいないか、定期的に確認してください。 ベッドフレーム、サイドレールやベッド用グリップなどがはずれてケガをするおそれがあります。</p>

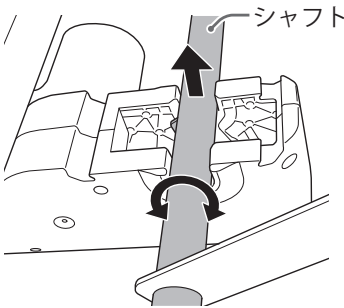
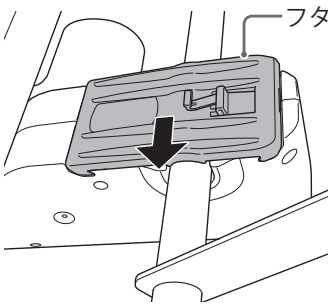
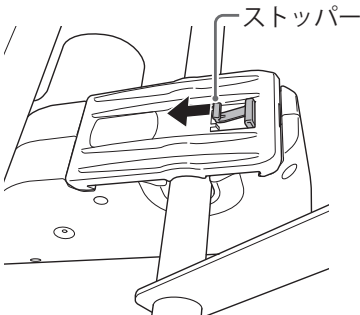
こんなときには

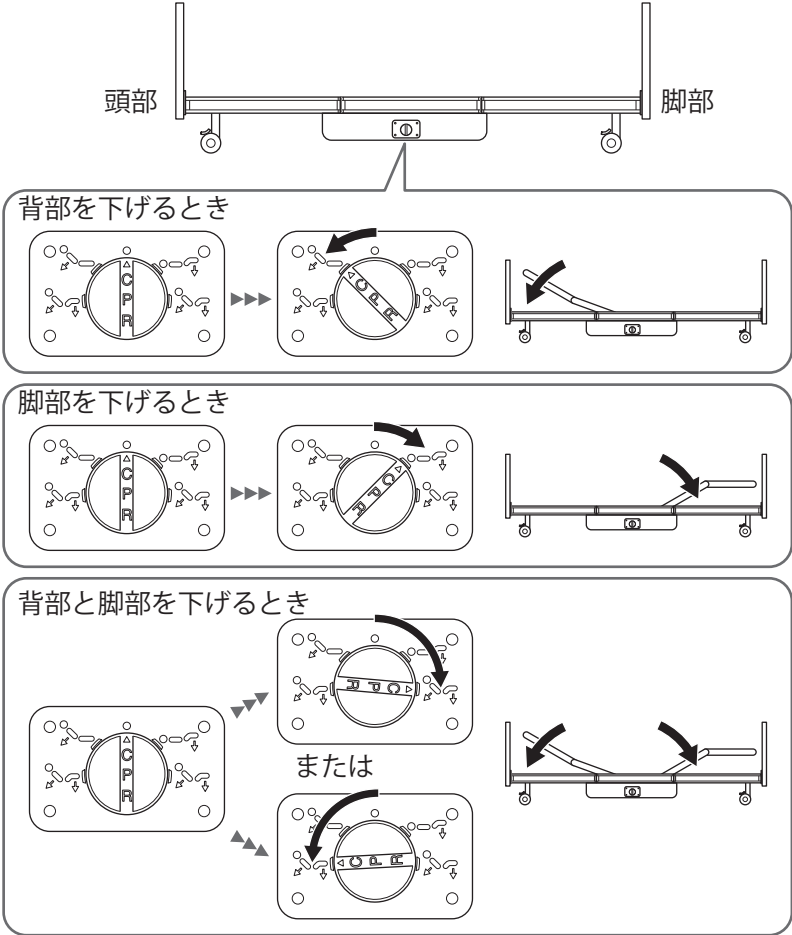
以下のことを行っても直らない場合は、お買い上げ店または「お客様相談室」にご連絡ください。

状態	確認事項
コントローラーのボタンを押しても動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 コントローラーのコードが確実に差し込んであるか確認してください。 コントローラーのボタンを同時に押すと、動作しない場合があります。その際は、それぞれボタンを押し直してください。
リクライニング部が水平にならない	<ul style="list-style-type: none"> 8 ページの「組み立て方法」を見ながら正しく組み立て直してください。 リクライニング部に掛け布団や毛布などが挟まれている場合があるので、リクライニング部を少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。
<div>照明付きヘッドボードのみ</div> <p>照明が点灯しない</p>	<p>電源プラグが抜けていないか調べてください。</p> <p>電球が切れている場合、照明の種類によっては電球を交換することができます。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
<div>ワイヤレスコントローラーのみ (2 モーター /3 モータータイプ)</div> <p>ボタンを押しても動作ランプが点灯しない ベッドが動かない</p>	<p>電池が切れていないか確認してください。切れている場合は、電池を交換してください。</p>
<div>ワイヤレスコントローラーのみ (2 モーター /3 モータータイプ)</div> <p>ボタンを押すと動作ランプは点灯するが、ベッドが動かない ベッドが動いたり動かなかったりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> コントローラーの位置や向きを変えて操作を行ってください。 金属構造物付近や遮へいされた場所などでは受信しにくいことがあり、動作距離が短くなる場合があります。 鉄やアルミ製の製品をコントローラーやワイヤレス受信機の近くから移動させてください。 高周波機器や高圧機器、電子機器、溶接機器など、もしくはそれらを使っている工場などが付近にあるときは、電磁ノイズを拾って動作距離が著しく短くなる場合があります。 受信機に近づいて操作してください。 本機を 2 台以上使用して操作を行う場合は、コントローラー同士を 1m 以上離してください。混信により動作不良の原因となります。 ワイヤレス受信機をモーターに確実に接続してください。 ベッド本体の電源プラグを抜き、10 秒以上経過してから、再度電源プラグを差し込んでください。 18 ページの「ペアリングする」に従ってコントローラーをペアリングしてください。
<p>背部を下げようとすると、連続警告音（ピーー）が鳴る</p>	<p>背部に掛け布団や毛布などが挟まれている場合があるので、背部を少し持ち上げて、挟まっている物を取り除いてください。</p>
<p>背部を下げようとすると、断続警告音（ピー・ピー）が鳴る</p>	<p>安全装置に異常があります。正しく作動しない可能性があるため、15 ページの「安全装置の接続について」をご覧ください。安全装置のコードが正しく差し込まれているか確認してください。</p>

停電が起きたときは

状態	確認事項
停電などが原因で背部や脚部が上がったまま停止してしまった	<ul style="list-style-type: none">・ 停電が終われば背部や脚部は再びコントローラーで操作できます。・ 就寝に支障をきたす場合は、次の手順で背部や脚部を水平にして使用してください。
水平にならないので寝られない	<div>2 モーター /3 モータータイプの場合</div> <ol style="list-style-type: none">1. ベッドからマットレスを降ろしてください。2. 水平にしたい背部または脚部が急激に落ちてこないように支えながら作業するか、紐などで固定して作業してください。3. 水平にしたい側（頭側または脚側）のモーター上面にある赤いストッパーを内側に引いてください。（赤いストッパーがない場合は手順4へ）4. フタを「OPEN」の方向にスライドさせてはずしてください。<ul style="list-style-type: none">・ フタをはずすとモーターが落下するので、足などを挟まないように注意してください。・ モーターの前後方向が似ているため、方向を確認しておいてください。5. モーターをシャフトからはずすと、背部または脚部は水平にできます。 <p>通電後は逆の手順で元に戻してから使用してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. モーターが停止するまでコントローラーの下げボタン（背部や脚部）を押し続けてください。2. シャフトを回して凸部がモーター内に納まるように調整しながら、モーターを持ち上げてシャフトにセットしてください。3. フタをスライドさせて取り付けてください。4. 赤いストッパーを外側に押し込んでフタをロックしてください。



状態	確認事項
停電などが原因で背部や脚部が上がったまま停止してしまった 水平にならないので寝られない	<div>4 モータータイプの場合</div> <div>1. 水平にしたい背部または脚部が急激に落ちてこないように支えながら作業するか、紐などで固定して作業してください。</div> <div>2. モーター側面にある解除レバーを以下の位置にしてください。</div> <div></div> <div>3. 解除レバーを元の位置に戻してください。</div>

⚠ 警告	
!	解除レバーを操作すると背部・脚部が急激に落下するため、乗っている人や周囲の安全を確認して操作してください。

お手入れ

日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

著しい汚れを落とす場合は、専用クリーナーで汚れを拭き取り、乾いた柔らかい布で拭いてください。

木製品

- ・ 著しい汚れを落とす場合は、家具用クリーナーで汚れを拭き取り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ 水分が残ったままにしておくと表面材の剥がれや変色などの原因になります。水分は確実に拭き取ってください。
- ・ シール・ステッカー類を貼ると、剥がす際に商品の表面を傷つけるおそれがあります。

本革製品

- ・ 著しい汚れを落とす場合は、皮革用クリーナーで汚れを落とし、必要に応じて皮革用ワックスなどを使用してください。

ソフトレザー製品

- ・ 著しい汚れを落とす場合は、家具用クリーナーをフキンなどに含ませて拭き取り、更に水拭きし、クリーナーをよく除去し、乾拭きしてください。ワックスや化学雑巾は使用しないでください。

布製品

- ・ 埃を払い落とし、布用クリーナーをフキンなどに含ませて硬く絞り、こすらず、たたくようにして落としてください。洗濯絵表示の付いている物は、表示に従ってください。また、洗濯機の取扱説明書もあわせてご確認ください。

ご注意

シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含んだもの、研磨剤および漂白剤などは使用しないでください。商品を傷める場合があります。専用クリーナーを使用するときは、目立たない部分で試してから使用してください。

保守点検

末長くご愛用いただくために、ベッドフレームやマットレスは定期的に点検・清掃してください。

ベッドメイキングやマットレスのローテーションなどの際に、年2回程度の点検・清掃がお勧めです。

設置したままでの長期間の使用は、埃・油分・湿気などによる変色・変形・変質・サビなどの原因になります。

!	組付ネジ類やレッグなどのねじ込み部品が緩んでいないか、各部品類がはずれていないか時々確認してください。 転倒や破損してケガをするおそれがあります。
!	虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。 他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大するおそれがあります。
!	各種保護部品やすべり止めなどの消耗部品の状態を時々確認してください。(樹脂・ゴム・フェルト・ウレタン) 割れ・剥がれ・変色・変形・変質などの異常を発見した場合は、市販されている代用品と交換してください。 また、床の材質やベッドのご使用方法によっては、ベッドの接地面が傷ついたり、きしみ音が出ることがありますので、極力カーペット類を使用してください。床面の保護は、お客様が行ってください。床面の傷・変色・変形は保証の対象外になりますのでご注意ください。

アフターサービス

■ 保証書

- ・ 保証書は、お買い上げ店での「お買い上げ日、お買い上げ店名」記入が必要です。
- ・ 保証書に記入できない場合は、納品書または領収書（お届け日、お買い上げ店名のわかる物）とあわせて大切に保管してください。

※保証書と、納品書または領収書がない場合は保証いたしかねます。

保証期間

製品の部位により、お届け日から起算し以下の期間と致します。

木製・金属製フレーム：2年（ただし、可動部品：1年 / 電気・照明部品：1年）

布製フレーム：2年（付属品は除く）

■ 修理を依頼されるときは

修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はお買い上げ店または「お客様相談室」へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

できるだけ詳しくお願いいたします。

- ・ ご住所、ご氏名、電話番号
- ・ 型式名、お買い上げ店名、お届け日
- ・ 故障または異常の内容

修理料金の仕組み

修理料金は、「出張・不具合診断料」「見積技術料」「技術料」「部品費」などで構成されています。

出張・不具合診断料：お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣し、不具合内容の診断と初期修理に掛かる費用です。

見積技術料：不具合診断や修理費見積を行った後に、お客様より修理をご辞退（キャンセル）された場合の見積作成費用です。

技術料：初期修理以降に発生する、修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検に掛かる費用です。

部品費：修理に使用した部品および補助材料代です。

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げの販売店または弊社相談室にお問合わせください。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
土、日、祝祭日、年末、年始等は除く

保証書

お届け日

年 月 日

お 客 様

ご芳名

様

〒□□□-□□□□

ご住所

TEL

販売店 店名・住所

販売店

商品の名称

表紙に記載しています。

保証の適用除外

保証期間中でも次のような場合には、有料修理又は出張料を申し受ける事があります。

- (1) 本保証書のご提示が無かった場合。
- (2) 本保証書にお届け日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
- (3) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
- (4) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (5) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
- (6) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
- (8) 指定電源（AC100V 50Hz/60Hz）以外の使用、及び異常電圧による故障又は損傷が生じた場合。
- (9) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
 - ① 布地、革、ソフトレザー等の破損、変色。
 - ② 木部の変質、塗装・メッキ部の曇り変色。
 - ③ 床面保護部品（フェルト類）等の消耗部品の破損、剥がれ、変色。
 - ④ 電球の切れ。
- (10) 一般家庭用以外（例 業務用等）に使用された場合の故障及び破損。
- (11) 設置場所（床面のゆがみ等）に起因される異音、組立不具合。
- (12) 本製品外より発生した食虫害。

設置場所

- (1) ご贈答品、あるいは転居等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書記載のお客様相談室へご相談下さい。
- (2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
- (3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。

※ご注意 本保証書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の対象

消耗部品を除く、ベッドフレーム本体とし保証期間は別記によります。尚、別売部品に保証書が添付してある場合、別売部品の保証対象、保証期間はその保証書によります。（別売部品とは、マットレス、電動フレーム等。）

保証期間

製品の部位により、お届け日より起算し以下の期間と致します。

- | | |
|------------------------|------|
| ① 木製、金属製フレーム | : 2年 |
| 但し、可動部品 | : 1年 |
| 電気・照明部品 | : 1年 |
| ② 布製フレーム | : 2年 |
| 但し、付属のクッション、ベッドカバーは除く。 | |

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

販売店様へのお願い

ご購入又はご配送時に保証書の所定事項（お届け日、販売店名）をご記入の上、お客様へお渡し下さい。

修理の記録

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042(543)3111 (代表)



商品仕様

サイズ		全巾×全長×全高（ ^{mm} ）	使用人員
シングルサイズ	外寸	990 × 2069 × 858	1 名
セミダブルサイズ	外寸	1240 × 2069 × 858	1 名

- ・ マットレスの寸法は、マットレスの品質表示ラベルの寸法欄をご覧ください。
- ・ ハイロー機能を使用してベッドを昇降すると、全高が最大で 360^{mm}高くなります。
- ・ サイドブラケットを左右のどちらかだけ使用すると、全巾が 35^{mm}大きくなります。
- ・ サイドブラケットを左右の両方とも使用すると、全巾が 70^{mm}大きくなります。

主材	天然木、化粧板、スチール、ABS 樹脂
仕上げ	木部：ウレタン塗装 スチール部：粉体焼付塗装
使用者体重	最大 100 kg

モーター		定格電圧	AC 100V
		定格周波数	50/60 Hz
		定格時間	2 分間使用後、18 分間停止
		モーター形式	DC 24V
	2 モーター	定格消費電力	シングルサイズ 80 W、セミダブルサイズ 80 W
		起床性能	背部約 78°、脚部約 35°（膝上げ角度）
	3 モーター	定格消費電力	シングルサイズ 180 W、セミダブルサイズ 180 W
		起床性能	背部約 78°、脚部約 35°（膝上げ角度）
		昇降量	360 ^{mm}
	4 モーター	定格消費電力	シングルサイズ 95 W、セミダブルサイズ 95 W
		起床性能	背部約 74°、脚部約 35°（膝上げ角度）
		昇降量	360 ^{mm}

ワイヤレスコントローラー	電源	単 4 型乾電池 × 3
--------------	----	--------------

629700-8942(153362-0)